

「少数民族虐殺は正しかった」

—中国共産党唐山学習班班員の日記—

楊 海 英

目次

- 一 日記資料の背景
- 二 造反派が回想する唐山学習班
- 三 学習班経験者の回想
- 四 日記資料の重要性
- 五 付録：資料

一 日記資料の背景

「偉大なプロレタリアート文化大革命」中の1968年4月から1970年春にかけて、内モンゴル自治区では、およそ27,900人ももの「内モンゴル人民革命党（略して「内人党」）員」とされる人々が残虐な手法で殺害された。逮捕、拘留された人数は346,000から750,000人に達する（郝維民 1991: 313; Atwood 2004: 402）。犠牲者はごく僅かな漢人を除けば、ほとんどがモンゴル人である。したがって、モンゴル人たちや多くの研究者たちは、この「内モンゴル人民革命党員肅清事件」を「モンゴル人のみを対象とした少数民族大量殺戮」、つまりジェノサイドとして理解している。

モンゴル人ジェノサイドがおこなわれた後、内モンゴル自治区は1969年12月19日に「軍事管理下」に置かれた。北京軍区内蒙古前線指揮部が自治区の最高権力機関になった。軍事管理と同時に、内モンゴル自治区の幹部たちはすべて自治区以外で招集された各種の学習班に編入されて、政治学習を命じられた。その際、自治区政府直属機関の幹部たちは河北省唐山市に、フフホト市の幹部たちは張家口市に、各盟や旗の幹部たちは山西省の陽高県に召集された。名目上は学習班と称しているが、実際は「強制収容所内における軍事訓練」だった、と経験者たちは振り返っている。

中国共産党の現代史、あるいは同党が絡んだ少数民族地域での現代史は、資料開示が進んでいないことから、謎に包まれた状態がつづいている。いわゆる

「唐山毛澤東思想學習班」もその実態は明らかにされていない。私は、文化大革命中に発動された「モンゴル人ジェノサイド」の研究を進めているなかで、唐山學習班に参加させられた複数の人たちにインタビューすることができた。そして、ある偶然の機会で、フフホト市の古本屋で唐山學習班に加わった人物の日記を手に入れることかできた。本研究は、その日記の公開を目的としている。

私が入手した日記は、1966年8月に湖南省長沙市湘中印刷社が作った「雷鋒日記」に書かれたものである。大きさは12.8cm×17.8cmで、紺色のビニールのカバーが付いている。扉ページに「1970年元月10日赴唐山學習」とある。次のページには「1969年4月26日 張欣心去大学校購」とあり、この日記はもともと張欣心という人物が購入したものである、と推定できよう。

日記の書き手は張欣心ではない。元月17日の日記は、書き手が學習班の一員として唐山に着いた一週間後に、宿舎や所属の「連隊」などが正式に決まったことを簡素に記す内容となっている。そのなかに「唐山市私書箱302第二連隊第四小隊第19班張長炳（唐山市302信箱二連四排19班張長炳）」とあることから、張長炳が日記の書き手であろう、と推定できよう。張欣心は張長炳の子どもであろう。日記を読んだ限りでは、張長炳がどんな人物だったかは、分からない。

二 造反派が回想する唐山學習班

内モンゴルの著名な造反派紅衛兵組織、「呼和浩特市大中專院校紅衛兵革命造反司令部(呼三司)」の指導者だった高樹華も唐山學習班に参加した経験をもつ。高樹華は次のように回想している。

唐山にはおよそ8,000人もの自治区直屬機関の幹部たちが集められていた。學習班は軍隊式に組織され、早朝の点呼から始まり、食事や訓練、それに政治學習などすべて隊列を組み、班ごとに動いていた。「お互いに密かに意見交換をしてはいけない、電話をかけてはいけない、手紙を書いてはいけない、見舞いの者を呼んではいけない、町に行ってはいけない」という五つの禁止令が敷かれていた。毎日、自治区の最高指導者だったウラーンフを批判する論文を読まされた。更にはお互いの問題を暴露したり、批判したりさせられた（高樹華 程鉄軍 2007: 409-414）。

そうしたなか、1970年4月16日の夜に、學習班の全員が北京に移動させられて、「中央領導」たちの訓示を受けた。その時の周恩来のスピーチが雷のように班員たちを震撼させた。

昨年4月に毛主席が戦争に備えよう、と呼びかけてから1年以上が経った。……内モンゴルは国境地帯であるのに、ちゃんと仕事をしていない。二つの拡大化をしてしまった。つまり、内モンゴル人民革命党員たちを粛清するという運動を拡大してしまった。その後、粛清運動の行き過ぎを是正する際に、今度は逆の拡大化をしてしまった。だから、解放軍を派遣した。

周恩来はここで軍事管理を導入した理由について述べている。別の共産党の首長は次のように指示した。

内モンゴル人民革命党は存在しているか否かということだが、答えはイエスだ。古い内人党もいれば、新しい内人党もいる。内人党は外モンゴルとつながっており、反革命的な組織だ。内人党に反対する目的は正しい。ただ、方法だけが間違った。傷つけた人数が多い。拡大化してしまった。

すでに冒頭で触れたように、何万人ものモンゴル人のエリートたちを残忍きわまりない手段で殺害した行為について、ただ「拡大化してしまった」との一語で片付けている。高樹華らは周恩来の訓示を次のように分析している。「大量虐殺事件に行き過ぎた点があった、との表現は意図的に殺戮を風化させようとしている。虐殺を是正しようとした政策にも行き過ぎがある、との言い方の本音は、是正したくないとのことである」、と見ている（高樹華 程鉄軍 2007: 415-416）。

中国共産党の高官たちはジェノサイド行為の目的は正しかった、とも評価している。中共の「偉大な指導者」で、「人民の良い総理」とされる周恩来らの講話に、同党の対少数民族政策の本質がみごとに現れている。それは、文化大革命中の少数民族虐殺は、正しかった、ということである。

三 学習班経験者の回想

内モンゴル大学党委員会の副書記を務めたことのあるオーノス(1929-)は、文化大革命中に「革命を裏切った者」とされ、長期間にわたって、さまざまな暴力を経験した（楊 2005: 170-192）。彼も唐山学習班に参加させられたことがある。彼は2006年4月24日に、私に次のように語った。

私は、唐山学習班第三大隊に編入された。第三大隊には文化関係、農業関係の元高官たちが多く、唐山の趙各庄というところに配置されていた。

唐山学習班では、殴る、蹴るなどの直接的な暴力はなかったが、一番辛かったのは、夜に眠らせないことだった。共産党に対する態度が悪く、自分の「罪状」を認めていないと見られると、夜に「難関を突破させる」と称して徹夜で吊るし上げられる。中国語で「過関」という。毎日、「党に心を引き渡す」（向党交心）、「自らの罪状を認める」（交代問題）、「ウラーンフの罪状を暴露する」（掲発烏蘭夫）の繰り返しだった。

一番辛かったのは夜に、たった二時間しか眠らせないことだった。実際、これも暴力だろう。……そして、周恩来の講話の衝撃も大きかった。内人党の粛清は拡大化してしまったし、それを是正する運動も拡大化してしまった、と彼は言った。私はこの耳で聞いたのだ。なんと無責任な言い方だろう。何万人ものモンゴル人が殺されたのに。……毛澤東思想学習班といっているが、実態は強制収容所だ。

オーノスの見解はモンゴル人たちの気持ちを素直に代弁していると言えよう。内モンゴル師範大学教授のナランバト（67歳）も唐山学習班に収容された。ナランバト教授は2008年1月のある日、私に次のように語った。

唐山学習班は政府が内モンゴルで「権力の空白」を作るために組織されたものである。内モンゴルの幹部たちを全員、外地に移動させて、その間に混乱收拾と称して解放軍を進めて軍事管理を実施した。内モンゴルの幹部たちが残っていたら、軍事管理がうまくいかないかもしれない、と見て「権力の空白」を作ったにすぎない。

中国共産党の政治闘争の手法は残酷で、巧妙である。何万人ものモンゴル人たちが殺害した後には、残った幹部たちに「殺害は正しかった」と繰り返し叩き込む。いわばジェノサイドを正当化するための洗脳である。私が今回、公開することになった日記は、どのように洗脳されていたかを如実に示している。

四 日記資料の重要性

日記は語る。唐山学習班の正式名称は「毛澤東思想学習班」だった。それは、「毛澤東主席の直接の指示で、内モンゴルからの幹部たちのために作った共産党学校（党校）の性質をもつ」と位置づけられている。つまり、学習班は毛澤東の勅令で組織されたものであることが明記されている。班員は7,200人に達し、

そのうち共産党員は3,000人あまりで、モンゴル人は1,000人に達していた。女性も約900人いたことが分かる。

1970年2月25日と3月2日に学習班の班員たちは中共の高官たちによる会見を受けていた。それぞれ政府系の京西賓館と人民大会堂でおこなわれた。周恩来をはじめ、情報機関のトップである康生などの顔ぶれが見られた。会見で繰り返し強調されている点は、二つある。

第一、内モンゴルは中国の北部国境地帯にあり、ソ連社会主義帝国と対峙する最前線にあたる。そのため、モンゴル人たちを粛清することは必要不可欠だった。

第二、毛主席の「戦争に備えよう」、との最高指示を忘れてはならないこと（図1参照）。そのためには、粛清による恨みを忘れようと説得している。

首長たちの講話は長かったが、要約すると、以上の2点に帰納できる。換言すれば、以上のような2点から、内人党の粛清事件、つまりモンゴル人ジェノサイドが断行されたということである。北部国境における防衛線を確固たるものにするためには、戦争になったらどちら側につくか分からないようなモンゴル人たちを大量に粛清する必要があった、という点を学習班の班員たちに理解させたかった。

要するに、モンゴル人ジェノサイドは中国という国家のために絶対に必要だったことを幹部たちに叩き込もうとしたのである。そうした共産党の努力ぶりが、どのような文件を学習させているのか、どんな講話を聞かされているのか、という細かい工作が日記から抽出できよう。謎に包まれた唐山学習班の実態を示す第一級の資料である。

1971年6月、唐山学習班は目的が達成されたと判断されて、解散した。ナランバト教授によると、班員たちは五つのタイプに分類され、それぞれ異なる運命をたどった。

- 一等幹部：元の政府機関に帰って仕事を再開する。
- 二等幹部：仕事は与えられるが、配置換えとなる。
- 三等幹部：「五・七幹部学校」に下放され、引き続き学習する必要がある。
- 四等幹部：農村に下方され、労働改造する。
- 五等幹部：敵人であり、唐山に残って再審査する。

かくして、「モンゴル人大量殺害は正しかった」と洗脳された内モンゴルの幹部たちは、さまざまな形で自治区に戻ってきたのである。

日記を読もう！

圖1 北部边疆防衛を訴える内モンゴルのポスター



紧握钢枪学理论



備考：

本研究は財団法人 平和中島財団による助成金「アジア重点学術研究」の一環として実施された「中国・モンゴル族が経験した〈文化大革命〉の実証研究」（2007年度）と、科研費「モンゴル族からみた中国文化大革命の実証研究」（基盤研究C 大野旭（楊海英）代表）の成果の一部であります。関係各位に篤く御礼申し上げます。また、漢文日記は中央民族大学蒙古語文学系博士課程の永花さんが入力してくれました。ありがとうございます。

参考文献

Atwood, C

2004 *Encyclopedia of Mongolia and the Mongol Empire*, Facts On File, Inc.

郝维民

1991 『内蒙古自治区史』内蒙古大学出版社。

高樹華 程鉄軍

2007 『内蒙文革風雷』明鏡出版社。

楊海英

2005 『モンゴル草原の文人たち—手写本が語る民族誌』平凡社。

五 付錄:資料

1969年4月26日，张欣心去大学校购。

1970年10月赴唐山学习

毛主席最新指示

我们希望这一次代表大会，能够开成一个团结的大会，胜利的大会。大会以后，在全国取得更大的胜利。（4月14日通过）

无产阶级是人类历史上最伟大的阶级，是思想上、政治上、力量上最强大的一个革命阶级，它可以而且必须把绝大多数的人团结在其的周围，最大限度地孤立和打击一小撮敌人。

70.1.11 河北省唐山矿冶学院学习。

70.1.12

70.1.13 改造我们的学习，摘要。

毛主席说，中国共产党的二十年就是马克思列宁主义的普遍真理和中国革命的具体实践日益结合的二十年。在学习上，应有的态度：就是应用马克思列宁主义的理论和方法对周围环境作系统的周密的调查和研究。就是要有目的地去研究马克思列宁主义的理论，要使马克思主义的理论和中国革命的实际问题，而去从他们立场观点指方法的，就是有的放矢的态度（总之理论联系实际）。

1.14 整顿党的作风。10节

毛主席说，中国的革命是伟大的，但革命以后的路程更长，工作更伟大，更艰苦，这一点理论必须向党内讲明白，务必使同志们继续地保持谦虚，谨慎，不急不躁的作风，务必使同志们继续地保持艰苦奋斗的作风。我们有批评和自我批评的这个马克思列宁主义的武器。我们能够去掉不良作风，保持优良作风。

1.15 写心得

元月17日 编排班

1. 从原来机关连队编排，二连三排。
2. 通信地址，河北省唐山市301信箱
3. 打扫安置住宿

唐山市302信箱二连四排 19班 张长炳

元月18日 大队长作动员报告

内蒙古班分三个大队，这为一大队。中央举办的学习班，是毛主席对内蒙的广大干部最大支持，鼓舞。中央对内蒙实行分区全面军管是毛主席对内蒙的关心，干部来这参加学习班，是非常光荣，幸福，责任感。

中央开办毛泽东思想学习班内蒙班是毛主席的伟大战略部署，是进一步搞好斗批改的灭资批修的文化大革命，有着伟大的意义。中央对内蒙的一系列指示不能贯彻，将大家来学的学习班，认真学习斗私批修，学习毛泽东思想，学习无产阶级政策，是关系到整个内蒙的问题。是为了巩固无产阶级专政而办的学习班，是伟大的战略部署，要搞好斗批改。

中央办的毛泽东思想学习班内蒙班是专政的需要，是团结大众来准备打仗的需要。毛主席在九大会指出团结起来准备打仗。内蒙是北大门，关系到祖国安危，学好学不好是对毛主席忠不忠的问题。

学习班是个人斗私批修改造世界观。办学习班，对己无关是不对的，起码是学习不好。办学习班是要大学活学活用毛泽东思想，革命一生奋斗到底。

学习班的性质和任务：中央办的学习班是毛主席和林副主席直接领导的学习班，林副主席是组长，学习内容都是中央决定的。中央有个内蒙办公室，又是党学习班。进党学习班，决不是派性学习班，群众学习班。学习班根本性质就是要高举毛泽东思想，为全面落实党中央对内蒙问题的一系列指示政策，为巩固更大联合三结合。为巩固和加强无产阶级专政。落实毛主席最高指示。提高警惕，保卫祖国，团结来准备打仗的最新指示。

内蒙是反修最前线。反复学习新党章，学习中要自己教育自己，通过学习团结起来共同对敌。几点要求：

1. 一定要以战斗姿态，战备带动斗批改学习班，按照准备打仗，团结起来，不团结就是最大的不忠。
2. 一定发扬理论联系实际的作风，自我批评的作风，联系群众的作风，三八作风，团结紧张，严肃活泼的作风，发扬艰苦朴素作风。
3. 牢牢掌握斗争大方向，深入开展革命的法批判，自始至终贯彻革命的大批判，批判刘的观点论，批判内蒙的代理人乌兰夫。
4. 自觉遵守各项制度，遵守各项纪律性，不论职位高低，都是普通学员，都要战斗，斗私批，政委传达中央首长讲话，周，康，陈，姚的讲话。周总理讲，陈伯达讲，康生讲，姚文元讲。

三天学习计划

- ① 办学习班性质意义，要求和为什么？

② 学风，党风教育。

学习文件。守则教育，八项规则，各项要求。21日上午写争取当扩大式的好学习措施)下午讲用会，以班为单位。学习要求，作好正是学习的准备。

1970年2月7日 上午学习。有关按班人的条件，语录党章(五条)。

林副主席的指示，我们选择干部的标准应该是，除了政治上可靠对党对主席忠实之外，要特别注意选择那些年轻，有能力，又干劲，作风好的。千万不能提那些疲疲沓沓的人。不然，工作是搞不好的。你们团、师、军、军区都应该打破资格论，大胆提拔。

选择提拔干部的标准，第一是高举毛泽东思想伟大红旗，拥护毛主席；第二是突出政治；第三是有革命干劲。

我们根据主席讲的无产阶级革命事业按班人的五条原则提出了三条办法，主席同意。第一条，高举不高举毛泽东思想红旗。反对毛泽东思想的罢官。第二条，搞不搞政治思想工作，看政治表态。工作搞乱的，在文化大革命捣乱的罢官。第三条，有没有革命干劲，完全没有干劲的罢官。这三条同主席的五条原则完全一致的，我们要按主席的五条和这三条，特别是第一条作为识别，选择和选用干部的标准。

内蒙班临时党委 朱政委讲话 70.2.10

今天开始比较正式的学习。朱大队长传达的战备教育批改，计划是中央办的毛泽东思想学习办公室批准的第一步，希望同志们贯彻执行。

中央办的毛泽东思想学习班内蒙班是革命的需要，是战备的需要，使我们思想革命化的需要。

内蒙地处反修前线，祖国的北大门，负有保卫毛主席，林副主席，党中央，首都北京和社会主义祖国边疆的保卫任务，责任重大。我们为贯彻毛主席备战的教导把内蒙建成真正反帝反修的钢铁堡垒。

中央决定对内蒙实行分区全面军管的同时，自下而上的举办各种类型的学习班，这是党中央毛主席对内蒙六百万人民的最大关怀，最大教育，最大鞭策，是我们为内蒙文化大革命立新功的好机会。

全班7200多人，共产党员3000多人，这是最大规模的党校。每一个学员，每一个工作人员，都要树立坚强的党的观念，高举毛泽东思想伟大红旗，按党的原则办事，党领导一切，毛泽东思想领导一切。有的人靠着打官司，争输赢，争高低的思想是错误的，不利于团结，不利于战备，不利于团结起来争取更大的胜利。

三个高举：

1. 高举毛泽东思想伟大旗帜

2. 高举九大团结胜利的旗帜
3. 高举革命大批判旗帜

落实四个团结：

1. 团结起来准备打仗
2. 团结起来共同对敌
3. 团结起来争取更大的胜利
4. 团结起来搞好批斗改

我们学习班究竟解决什么问题？就是要解决党性问题，团结问题。建设党性，消灭派性，实际上就是解决对毛主席，对毛泽东思想，对毛主席的灭资批修革命路线的态度问题。指导思想就是高举九大团结胜利的旗帜，以战备为纲，以真正建党教育为重点，用毛泽东思想实现理论统一，用战备的观点观察一切，检查一切，落实一切。我们必须用战备来推动我们的学习，用战备来促进团结，用战备来搞好思想革命化。提高在无产阶级专政下继续革命的自觉性，团结起来准备打仗，团结起来搞好批斗批改，团结起来共同对敌，团结起来争取更大的胜利。目前美帝苏修更加变本加厉，特别是苏修妄图发动大规模的武装侵略。我们要胸怀战备全局，做好本职工作，用优异成绩支援战备。

内蒙实行军管20余天，出现大好局面，大家来学习班学习，是革命的需要，战备的需要。用战备促进学习，促进我们的团结，用战备加速思想革命化，要以战斗姿态斗私批改，以战备的姿态消灭派性，加强党性，加速团结。完成中央交给我们的光荣的学习任务。在解决内蒙问题中尽到自己的一切责任。要在思想上，作风上，生活习惯上来一个大转弯，要把形势转变到战备的轨道上来，要从资产阶级的派性转到无产阶级党性上来；要从打内战，转道团结起来，共同对敌的大方向上来。

团结起来，准备打仗就是大局，这是革命的大方向。同志们要以革命大局，国家安危为重，准备只管大局。闹派性，就是干扰大方向。共产党员，国家干部，中央办的学习班学员，只有党性要求，用毛泽东思想实现国家统一，团结起来共同对敌，准备打仗。要来一个赛革命，赛团结，赛进步的大竞赛，看谁在学习班进步的最快，团结得最好。学习班是在提高警惕，保卫祖国，要准备打仗的新形势下举办的。我们要以战斗的姿态进行学习，为了圆满地完成学习任务，党委要求：

一，要高举毛泽东思想伟大红旗，用毛泽东思想统帅一切，改造一切，衡量一切。言行是否符合毛泽东同志？大海航行靠舵手，干革命靠毛泽东思想。一个革命的同志，要革命的同志，愿意革命的同志，要刻苦活学活用毛泽东思想。随时用毛泽东思想总结经验教训，才能在革命的道路上不迷失方向，才能不掉队，才能在正确轨道上前进。

中央办的学习班，自始至终要贯彻毛泽东思想，提高路线斗争觉悟，提高继续革命的自觉性。我们不仅提高国内的阶级斗争任务，而且要在国际上也担负着战胜帝修反的任务。因此，我们不仅要把中国革命进行到底，而且还要把世界革命进行到底，而贡献力量。我们要胸怀祖国，放眼世界。要活学活用毛泽东思想，就是要认真读毛主席的书，听毛主席的话，照毛主席的指示办事，言行一致，表里一致，坚持理论联系实际的革命作风。

用毛泽东思想总结内蒙文化大革命的经验教训，总结我们每个人在文化大革命的经验教训。反对表里不一的资产阶级两面派的坏作风。学习方法，坚持自学为主，要自己教育自己，自己解放自己，自觉地斗私批修，增强党性，消灭派性，彻底改造世界观。提高继续革命的自觉性，争当继续革命的先锋战士。

二，高举九大团结胜利的旗帜，坚持在毛泽东思想基础上团结起来，共同对敌。团结起来，争取更大的胜利，这是毛主席的伟大战略部署，这是巩固发展文化大革命胜利的根本保证。团结起来革命事业就兴旺，没有团结就没有革命。我们要准备打仗，就更要注意团结，我们要团结起来，孤立敌人，不要让敌人来鼓励我们，我们闹分裂，就是帮助敌人。团结就是力量，团结起来就是胜利。党章规定这一条就是识别同志的一条标准。

革命事业是在阶级矛盾中前进的。凡属人民内部矛盾，就要根据团结一批评—团结这一公式解决。要搞好团结必须搞好正确的批评。所谓正确的批评，就是用唯物辩证的方法，对己对人对事都要一分为二，同志间要以诚相见，不要——搞大动作，需顾全大局，注意大节。不要在具体问题上纠缠不休，团结本身就是阶级斗争的需要，不要纲上派，纲下派，我们都是毛泽东思想革命派。

三，高举革命大批判的旗帜，牢牢掌握斗争大方向。毛主席号召我们团结起来为了一个目标，就是巩固无产阶级专政，要落实到每个工作单位，机关学校。

大批判要贯彻学习班的始终，要狠批刘少奇和乌兰夫，肃清其在政治，经济，文化领域的流毒。通过大批判搞好我们的阶级斗争和路线斗争觉悟，深挖苏修社会帝国主义人情法西斯的本质和纸老虎的本质，认清反动派侵略战争的危险性，做好反侵略斗争的准备。

批判内蒙违反毛主席的错误倾向，宗派主义，小山头主义，小团体主义，分裂主义，个人主义，无政府主义等危害革命的坏思想。批判的方法主要是自我批评为主，挽救同志，我们搞学习班当作斗私批修的战场，人人斗，既作斗私的先锋，又当批修的闯将。

四，继承伟大的革命传统，发扬伟大的艰苦奋斗的优良作风。要有刻苦认真的学习精神，理论联系实际。以战斗的姿态投入学习，不怕苦，不怕累，不怕紧张。要充分发扬战争年代的革命热情，革命干劲，彻底打掉元气（怒气，神气，

不服气），发扬艰苦奋斗，克服困难的精神，会议要有斗志，有组织的参加集体生产劳动。要大兴三八作风，毛主席告诉了奋斗的目标，奋斗的精神，奋斗的方法。这是革命党的作风，革命家的作风，提高党的观念，加强革命组织的纪律性，严格遵守学习班各项规章制度和国家法规。

中央规定的八条规定和六项守则，伯达同志的五大指示是中央的号令，为了排除干扰更好地学习，也是中央高度的关怀和爱护，要不折不扣地执行，要成为遵守纪律的模范，要保证落实同志之间要互相监督。对不好的表现，对那些不遵守纪律的要批评帮助，做出新的贡献，立新功。

最高指示

团结起来，争取更大的胜利。提高警惕，保卫祖国，要准备打仗。团结起来以战斗的姿态完成党中央赋予我们的学习任务。

决心书：

我们九班怀着激动兴奋的心情听了首长二月十日的讲话。大家一致认为首长讲话传达了毛主席，林副主席党中央、对我们的无限关切，和真切地希望。大家一致表示决不辜负毛主席林副主席党中央对我们的期望，保证做到

一，高举毛泽东思想伟大红旗。大海航行靠舵手，干革命靠毛泽东思想。我们一定要把毛泽东思想真正学到手。1，端正对毛主席的态度，端正对毛泽东思想的态度，坚决只学不用，言行不一的坏作风。只学不用就是对毛主席的不忠，就是对毛泽东思想的不忠，不解决这个根本态度问题就不可能真正把毛泽东思想学到手。2，要深思。也就是刻苦钻研，反对粗枝大叶，夸夸其谈，满足于—知半解。3，以老三篇为座右铭，不为私立公，革命自己的问题活学活用，在灵魂深处爆发革命，斗私要狠，要拔大葱，不要割豆芽。坚持天上轰雷打不动，保证日日查，每晚睡前走电影。一查今日言行符合不符合毛泽东思想，二查今日的私字概念，三查今日有无防不利团结的言行，四查今日有无违反纪律的人家。4，以新党章为尺子，继续革命，争做无产阶级光辉战士，树立对中国革命，世界革命进行到底的决心。5，像无产阶级革命的先锋战士优秀共产党员王国福同志学习，以王国福同志为精神，拉革命车，走革命路。

二，高举团结胜利的旗帜。1，团结起来争取更大的胜利，这一伟大号召形式一定要实现。2，增强党性，消灭派性，当前派性是团结的大敌，一定服从党的领导，一切要照党的原则办事，保证不搞派性，看谁主动团结，团结的好，团结的牢。3，开展谈心活动。谈心活动自觉自愿帮人拉线，面对先到，紧紧跟上。

三，高举革命大批判的旗帜。团结起来，为了一个目标，就是巩固无产阶级专政，要落实到每个工厂，农村机关学校。1，实实在在掌握大方向，始终对准关帝，

苏修，刘贼少奇，乌兰夫，特务，叛徒以及国内外一切阶级敌人。2，定期组织小型和大型批判会，动手，口诛笔伐。3，抓机会教育，利用参观，看电影，参加劳动的机会，座谈收获，致力于巩固成果。

四，提高警惕保卫祖国，要准备打仗。1，思想问题，活学活用毛主席关于战备的有关教导。2，学到四个大转弯，思想大转弯，工作大转弯，生活习惯的大转弯，以适应新的要求。3，从无产阶级战备观，价值观，自己世界观的改造，检验自己，继续革命的自觉性，检验自己的将中国和世界革命进行到底的决心。4，把当前的学习，用战备的标准来要求。

五，以解放军为榜样，继承革命传统，弘扬三八作风，加强革命纪律性。1，雷厉风行，闻风而动，说干就干，又快又好地完成任务，争取时间，不怕紧张。要做实践的主人，不做实践的奴隶。2，参加体力劳动，改造世界观。3，大唱革命歌曲，鼓舞革命干劲，唱出团结人们教育人民，打击敌人，消灭敌人的战斗水平来。4，锻炼身体，保卫祖国，保证出早操，并搞好内务，做好环境，集体工作。5，坚决保证执行一切革命纪律，每周班委会检查一次。多办事，从来急天地转，焦急一万年太久，只争朝夕，我们要以战斗的姿态完成党中央给予我们光荣的任务。并愿兄弟班互相学习，共同进步，并肩进步，紧跟毛主席干一辈子革命。

二连三排 1970年2月12日最新指示

2月14日 广大干部下放劳动，这对于干部是一种重新学习的极好的机会，除老弱病残盲外都应这样做。在职干部也应分批下放劳动。

最高指示 2，14

我们希望这一次代表大会，能够互相团结的大会，胜利的大会，大会以及在全国取得更大的胜利。在工人阶级内部，没有根本的利害冲突。在无产阶级专政下的工人阶级内部更没有理由一定要分裂成为势不两立的两大派组织。（68年2月13日）

团结一致，同心同德，任何强大的敌人任何困难的环境都会向我们投降的（1967，7，30）。要争取团结一切可以团结的人们，无产阶级不但要解放自己，而且要解放社会人类。如果不解放人类，无产阶级自己就不能最后地得到解放（67，4，15）。毛主席指导我们，国家的统一，人们的团结，国内各民族的团结，这是我们事业必定要胜利的基本保证。

党的第九次全国代表大会上指出：在我们党的历史发展的重要时刻，在我们无产阶级专政巩固和发展的重要时刻，在世界共产主义运动和世界革命发展的重要时刻召开的。经过无产阶级文化大革命以毛泽东思想的伟大红旗下，我们的祖

国空前统一。我们人民形成了极其广泛的革命大团结。

2月15日 连开会

王指导员讲话。毛主席说，有些工厂领导权没有真正在我们手里，但又不愿扩大打击面，要继续暴露一小撮坏人，即使是坏人也要加以分析，区别对待，给出路。不要树敌过多，帮敌人的忙。团结起来，我们要孤立敌人，不要让敌人团结起来孤立我们。团结的人越多，我们的事业能兴旺。准备打仗，准备反击帝修反的进攻，更要注意团结。无论对内对外斗争都没有完，还在继续，就要争取团结。一中全会上毛主席又讲了要团结起来争取更大的胜利，革命没有完成，要继续革命。他说，不管是那个山头，不管是南方北方，不管是东面西面，不管是新的老的，还是半新半老的都要团结，是多团结些人好呢，还是少团结些人好呢？还是多团结些人好，这是非常重要的。我们讲的团结，是强调在毛泽东思想基础上的团结，不是无原则的团结。不团结不能胜利，前世无冤今世无仇，我们不是宿命论者。认命更没有完，已经有过分裂斗争的同志，也还可以团结起来，已有的裂痕要弥补，不要以错就错。早团结比晚团结好，不是冤家不聚头，不打不相识，不打不成交。打过了才知道不团结的害处，矛盾解决了，团结也牢了，当然这是指人民内部的矛盾，阶级内部的矛盾。

怎样团结，要牢牢记住，毛主席“团结—批评——团结”的公式，这是解决人民内部矛盾最重要的方式，这是毛主席创造性地发展了马克思列宁主义的重要方式。要用这个公式搞好团结。我们要以毛主席为伟大榜样，主席什么时候都高瞻远瞩，要用主席思想指导自己，团结那些曾经反对过自己的人。主席的方针：凡是能拉一拉的，绝对不推一推，即使到了万丈悬崖勒马，该拉的还是要拉，实在是对拉不上来的，也想办法给出路，毛主席光明伟大很让人感动。

某某同志强调没有团结，没有革命，革命和团结是相辅相成的，不团结就革命取消革命，革命取消了革命的胜利。

某某同志讲，不要无限上纲，对对方不要造谣。在文化大革命中，有的人无中生有，谁能没有一点错误。不要有一点错就上纲，把一说成一万，把二说成两万，把蚂蚁说成大象，把蚊子说成是飞机，这样就都成了坏人了，不要无限扩大，伤感情。列宁说除了不工作的人，就不可能不犯错误。

某某同志说，不工作是最大的错误，错误是不可避免的，错了就改，争取不犯大的错误，有了错误不要无限上纲，不要想看蚂蚁，站起来看不是坐下来一大片，不要向行军捉虱子，抓得越多越舒服，要允许别人改正错误，不要记仇，说完了就完了。

某某同志说，要诚恳，有意见当面提，不要背后搞小动作，要顾大局，注意

大的方向。要有干劲，气可鼓，不克漏，要有革命干劲，要有克服困难的干劲，要有战胜敌人的干劲，不要有邪门歪道，要敢于听取反面意见，忠言逆耳要搞好内部团结。才能搞好斗批改，不搞好团结，对革命不利，对生产不利，对文化大革命不利，不团结有百害无一利。我们团结起来，敌人最害怕，让敌人无隙可击，我们现在争分夺秒，落实毛主席的指示，不团结，帝修反一旦突然袭击，打来了就不得了，团结了就了不得。

某某同志讲，我们要立足于本职工作，胸怀祖国，放眼世界，解放全人类，只有团结好，才能取得胜利的条件。

某某同志说，特别强调要在毛泽东思想基础上的团结，主席在各方面都给我们树立了伟大的榜样。在团结问题上也给我们做出示范。

斯大林说：职位并不能给人智慧，党越是培养越要虚心，越要夹着尾巴做人，越要谦虚谨慎，戒骄戒躁。

69年5月6日中央召开有关各省市有关人员座谈会。摘要之摘要。我们伟大领袖毛主席具备四个条件：现代条件，天才条件，实践条件，勤奋条件。要像雷锋那样：对待同志要像春天般温暖，对待工作要像夏天般火热，对待个人主义要像秋风扫落叶一样，对待敌人要像严冬一样残酷无情。在工作上，要向标准最高的同志看齐，在生活上，要向水平最低的同志看齐。

最高指示

斗争是团结的手段，团结是斗争的目的，以斗争求团结则团结好，以退让求团结则团结亡。这一真理，已经逐渐为党内同志所了解。以斗争求团结，放弃斗争则没有任何地团结。全党同志必须团结在中央的周围，任何破坏团结的行为都是罪恶，只要共产党人团结一致，同心同德，任何强大的敌人，任何困难的环境，都回向我们投降。把我们的全党全军团结得差不多像一个人一样。

一种是党内的团结，一种是党与人民的团结，这些就是战胜艰难环境的传家宝，全党同志必须热爱这两个无形之宝。要能够团结大多数人，所谓团结大多数，包括从前反对自己反对错了的人，不管他是那个山头的，不要记仇，不能一朝天子，一朝臣。一天不学思想糊涂，两天不学行动迷路，三天不学头脑生锈，长久不学变质变修。

成千成万的先例，为着人民的利益，在我们的前头英勇地牺牲了，让我们高举他们的旗帜，踏着他们的血迹前进吧。无数革命先烈为了人民的利益牺牲了，他们的生命，让我们每个活着的人想起他们就心里难过，难道我们还有什么个人利益不能牺牲，还有什么错误不能抛弃吗？70，2，25。

八三四一部队支左工作阶段，三条原则，九个一样。

三条原则：凡是拥护毛主席，符合毛泽东思想，热爱毛主席的无产阶级革命路线，紧跟毛主席的伟大战略部署的就坚决支持。凡是不符合毛泽东思想，违背毛主席的无产阶级革命路线，干扰毛主席的伟大战略部署的就同他们的错误作坚决的斗争，严厉批判，耐心帮助，使他们认识和改正错误。凡是反对伟大领袖毛主席，反对以毛主席为首，林副主席为副的党中央的，就和革命群众一起把他们揪出来斗倒斗臭，同时根据情况，区别对待给予出路。

九个一样：对军管会热情和冷淡的都一样；谈心，对顺耳和逆耳的话都一样听；对两派组织的群众都一样去依靠；对两派组织的积极分子都一样委任；队两派组织反映的情况都一样重视；对两派组织的优点都一样表扬；对两派组织的缺点都一样去帮助；对两派组织的家属都一样去走访；对混进两派组织的坏人都一样去清理。

四不：1，不带框框，深入群众，调查研究，实事求是。从实际出发，用毛泽东思想鉴别是非，不受资产阶级派性影响和干扰。2，不回避矛盾，放手发动群众，用毛泽东思想武装群众揭露矛盾，分析矛盾和解决矛盾，不怕反复。3，不搞折中，用毛泽东思想衡量一切，符合多少就肯定多少，违背多少就确立和纠正多少，不怕压，也不要捧。4，不当裁判员，坚持用毛泽东思想引导群众，让群众自己教育自己，自己解放自己，不上资产阶级派性的当，轻易表态。

最高指示

在群众面前无困难，就是因为他能克服困难，我们的情况概括地说起来就是：有困难的有办法的，有希望的。我们面前的困难是有的，而且是很多的，但是我们确信一切苦难，都将被全面地英勇奋斗所战胜。2月26日抄。

唐山边防战士诗抄

毛主席号召我紧跟，反修战场练红心，
目看全球都红遍，笑洒热血为人民。
老三篇化灵魂，世界革命为己任。
誓做雪地邱少云，冰天雪地练红心。
严寒何所惧，一心为人民，
保卫毛主席，冻死也甘心。
宁肯血洒乌苏里，誓与苏修斗到底，
扫除一切害人虫，中心献给毛主席。

最有觉悟的人，是无限忠于伟大领袖毛主席的人，最有智慧的人，是坚决按毛泽东思想办事的人，最勇敢的人，是誓死捍卫毛主席革命路线的人。

脚踏雪地头顶苍天，怀揣宝书心里暖，
为了与敌斗争再累也舒服，再苦也幸福，在冷也热乎。

2，20上午 市委科长介绍唐山市战备工作情况

概况：唐山是一个百万人口的重工业城市，是东北华北的要害，北京的东大门，是历来兵家必争的地，厂矿情况苏修比较熟悉。唐山的钢的品种，机头，煤，在国家所占的位置，他们全都了解，机场也是他们帮着造成的，从地区上看临海很近，占了唐山对北京很有威胁。

一，精神准备情况

首先抓了精神工作，用毛泽东思想武装群众，树立常备不懈的思想。进行以阶级斗争为纲战备为重点的教育。除广泛宣传大造声势外办了各种学习班，初步统计2万多期，160万人次，由老工人记民族苦1200多次，30多万人次，各种报告3600多次，约90万人，声势上，广度上，都大于历次的政治运动。如，机车厂每人平均10次，召开大小批判会17000次，出版报2900分期，全部做到家喻户晓，人人皆知。从暴露思想看，有模糊认识，四多四少：对国内阶级斗争注意多，对帝修反，反动侵略战争注意少，对依靠解放军想得少，对自力更生办得少，对苏修蔑视多，对苏修突然袭击想得少。对机关工厂讲得多，回到家里讲得少。

三个方法：1，把苏修统集团剥削压迫人民和地主剥削压迫人民的罪行进行对比。2，把新沙皇的侵略罪行和美帝日寇侵华罪行进行对比。3，把苏修叛徒集团背叛人民，法西斯专政合理和刘少奇复辟资本主义进行对比。苏修是阶级敌人的总代表，总祸根，颠覆我国的主要敌人。引起蔑视，鄙视，仇视。

通过学习毛主席著作，解决了四个问题。

一，立足于一个打字，消除幻想，准备打仗。从思想上认识毛主席的伟大号召的战略意义。行动上，从打字着眼，不管打什么战争，坚持打到底。早打，晚打，大打，小打，四个坚持，彻底消灭它，打出一个红彤彤的新世界。

二，激发一个狠字。通过大揭发，大批判活动，彻底揭穿苏修的画皮，彻底批臭。十大罪状：1，不断侵略我边疆地区，制造流血事件。2，唆使暴徒们攻击我大使馆。3，长期霸占我国领土。4，在我国周围组织反华包围圈。5，疯狂破坏我国文化大革命。6，促使印度反动派对我国进行挑衅。7，制造新疆伊犁外逃事件。8，军事上包围我国。9，帮助美帝制造两个中国。10，背信弃义，全面撕毁协议和合同。

三，树立一个“敢”字。帝国主义都是纸老虎，从根本上蔑视他，必胜的条件，地域广阔，毛主席英明领导，英勇的人民解放军，全国人民能战胜敌人。一不怕苦，二不怕死，是精神原子弹，压到敌人。

四，大立一个“公”字。把准备打仗提到继续革命的高度，狠批公私溶化论，一心为人民大立无产阶级世界观。

原因：1，宣传工作，必须深入，声势大，规模广泛，演习中除利用有线广播，宣传队外，进行战地群众性宣传。2，在战备工作中突出全重点。抓专业队伍，民兵独立团，突出一个快速临战姿态。3，不断总结经验，抓好三分之一，先抓好点，推广。如，机车厂，声势大，广泛，抓的细。厂充分发动群众，不向上伸手，自力更生，服务公司，口财贸系统，旅馆，唐山矿，地下枢纽。4，战备中，要求广大群众，认真学习毛主席提高警惕，团结起来要准备打仗的教条。不许任何人以派性影响战备工作的进行，对派性提出严格要求，为什么要战备，怎么样战备，群众对此让大家识别到由于派性不能落实战备，是自己拆自己的台。决心在毛泽东思想基础上团结起来随时准备为反击帝修反，贡献自己力量，进洞一概不讲观点，出洞外，可以辩论。闹宗派是破坏战备，是对毛主席的最大不忠。5，战备与生产关系，位置要处理好。目前以战备为重点，把各项工作都以战备为主，以战备迎刃而解，因此领导集中把战备爆发出来的冲天干劲，带动工农生产。从去年看农业生产和工业生产都提前完成计划，很多产品基本上大跃进。

70年一个月看，煤炭生产超出13万3千万吨。

钢生产 1100万吨

棉花 1200万吨

布匹 4, 3万米

二月份将有更大跃进。工人们把车间当战场，把工具当刀轮，把能生产的产量当作消灭帝修反的一份力量。武器生产在制枪炮上都能自制，炮弹也能解决，在没有储备没有物资情况下都能生产出武器。广大职工决心不向国家要，要自立更生完成任务。

二，（补记）关于组织准备战况

结合清队建党，以战备为纲，首先抓党整顿。从去年开始，全市民兵整顿了3次，按战士需要进行整顿怎样便于反击，怎么样编班，落实干部也打破了年龄的限制，尤其涌现的造反派，担任了领导工作，为了应突然事变，我们搞几个组织。

对空射击 人员救护。物资抢运， 纠查。通讯联络。一切服从战备，为了防止突然事变，我们分析了可能出现情况，分片包干有明确分工。我们对专业队进行民兵独立团，进行了训练，使他们会单独执行任务。在组织落实基础上以基干民兵为主组成对空射击网，有一线战斗队，估计有四种情况：1，敌机突然袭击。2，空袭。3，空中，海上，地上同时来。4，大规模空降

此外，我们也是从这四个方面进行准备反击。四条主航运，和开滦煤矿相通。转入地下继续和敌人打，如敌人进入地下，让他们有进无出。开滦旧巷道是主动

搞的。为了消灭他们，只有前进，不能后退，他们终于战胜艰难，2000多米为建地下长城做出贡献，他们在为建地下长城而奋斗着。

第一巷道，地面67米宽3米，面积3600平方米，由7月份开始截至目前以挖4000多米，计划一季完成。

第二，搞地面30米基本建成，准备防化为巷道

第三，距地面60米，可行汽车，拉电。

计划与煤矿行道沟通，可以为四通八达地道网另一条准备大街沟通。团结问题个人体会的基点：（王爱萍）3，7。1，首先要打破自己的爱面子，虚荣心，自尊心，为革命而团结，为战备而团结，决不是你之间的小事，不怕别人议论，讥笑之风凉话。2，把相信自己，换成相信别人。3，把尊重自己，换成尊重别人。4，把怕触及灵魂换成敢触及灵魂。5，把处处为自己着想，换成设身处地为别人着想。6，以诚相见，以热心换热心。7，一分为二要做自我批评，但也要坚持原则适当开展批评。8，要顾全大局，注意大节，抛开个人私心杂念，不背后搞小动作，表里一致，口心一致。9，重新认识别人，重新认识自己，彻底清除隔阂，重新建立无产阶级感情。10，认真学习毛主席著作。听毛主席的话，像毛主席那样心胸开阔，为我们树立了团结的示范。

新沙皇的简历表

姓名：苏修社会帝国主义 性别：侵略成性

成分：资产阶级特权阶级 籍贯：沙皇俄国

信仰：老牌修正主义 社会帝国主义

家庭成员：祖父—老沙皇—尼古二世，大老板勃列日涅夫

贼父 赫鲁晓夫 狗弟：柯西金

社会关系：

- 1, 主子：美帝—全世界人民死敌 驸马 材腾巴尔
- 2, 叔父：铁托叛徒集团—老牌修正主义鼻祖
- 3, 干女：英迪拉甘地—印度大党反动派，侵华小丑
- 4, 小伙计：大叛徒，内奸，工贼 刘少奇
- 5, 喽啰，胡沙线 卡他尔 鸟不拉希-等
- 6, 狐朋狗党 佐藤 他脓 等

其他傀儡集团及其该死特征

- 1, 打着社会主义大旗，行反对社会主义之实
- 2, 有祖传的扩张秘方，由专门侵略之技巧
- 3, 有扑灭世界人民命运的嗜好

4, 对帝国主义有屈膝投降之传统, 对社会主义中国有咬牙切齿的仇恨

5, 善于偷偷摸摸、鬼鬼祟祟造谣观众, 侮辱谩骂, 突然袭击。

有何主要谬论: 1, 勃列日涅夫(国际专政论, 有限主权论, 大家庭论)。2, 创造一套“三和”“两全”反革命修正主义路线。

主要简历:

1956年 篡夺了苏联党政领导权, 推行“三和”“二全”反革命修正主义路线, 攻击伟大的毛泽东思想, 反对中国社会主义革命。

1958年, 公开提出在中国建立“共同舰队”, 还要建立长波电台推行社会帝国主义政策阴谋, 对中国实行军事控制。

1959年9月与美帝国在戴维营会谈时, 同美帝密谋策划勾结人民公敌蒋介石, 长期以来伙同美帝制造两个中国。

1960年到1967年8月向印度反动派提供九亿美元军事援助, 大力援助印度反动派集团, 武装侵犯中国。

1960年7月一个月内撤走在中国1390名苏联专家, 撕毁343个专家合同, 和补充件, 废除257个科学技术合同项目。

1960年6月下旬, 在布加勒斯特对中国共产党发动突然袭击, 长期以来侮辱和攻击中国共产党, 纠集他党大搞反华大合唱, 长期以来用各种卑鄙手段侵入中国进行间谍活动, 偷窃情报。长期以来挟持亚洲各国反动派伙同美帝拼凑反华包围圈。

1965年3月以来, 致使日本暴徒袭击中国驻苏大使馆, 撕毁世界革命人民伟大导师毛主席像, 野蛮殴打留学生。

1960年---1969年大量制造中苏边境纠纷, 完全继承沙皇的衣钵, 侵犯中国领土达5886次。

现在集结大量军队在中苏, 中蒙边界伺机向中国进行大规模突然袭击。

健康状况: 外强中干, 虚胖无力——反动本质纸老虎歇斯底里, 口出狂言——疯狂咒骂侮辱社会主义中国, 发出战争叫喧。

五毒攻心, 千疮百孔—政治腐败, 经济危机, 军心动乱, 军情激愤。

先天不足, 严重健忘——国库空虚, 债台高筑, 经常赖帐, 焦急不安, 彻底失眠——内外交困, 众叛亲离, 走投无路。

肝痛肠热, 呼吸困难—摇摇欲坠, 面强垮台。

结论:

捣乱, 失败, 再捣乱, 再失败。病入膏肓, 不治绝症, 葬于人民斗争, 汪洋大海之中。70.3.4

继续革命阶段学习 3月2日 上午

毛主席1968年10月的一次该活动中指出：我们已经取得了伟大的胜利，但是失败的阶级还要挣扎。这些人还在，这个阶级还在，所以我们不能说最后的胜利。几十年却不能说这个话，不能丧失警惕。按照列宁主义的观点，一个社会主义国家的最后胜利，不但需要本国无产阶级和广大人民群众的努力，而且有待于世界革命的胜利，有待于在整个地球上消灭人剥削人的制度，使整个人类都得到解放。因此，轻易地说，我国革命的最后胜利，是错误的，是违反列宁主义的也是不符合事实的。

社会主义社会是一个相当长的历史阶段。在社会主义这个历史阶段中还存在阶级，阶级矛盾和阶级斗争。存在着社会主义同资本主义两条路线的斗争，存在着资本主义复辟的危险性。要认识这种斗争的长期性和复杂性。要提高警惕，要进行社会主义教育。要正确理解和处理阶级矛盾和阶级斗争问题，正确区别和处理敌我矛盾和人民内部矛盾。不然的话，我们这样的社会主义国家，就会走向反面，就会变质，就会出现复辟。我们从现在起，必须年年讲，月月讲，天天讲，使我们对这个问题有比较清醒地认识，有一条马克思列宁主义的路线。

毛主席关于无产阶级专政下继续革命的理论的要点是：

1，对立统一规律是宇宙的根本规律，矛盾是普遍存在的。事物内部的这种矛盾性是事物发展的根本原因。在社会主义社会中有两类社会矛盾，这就是敌我之间的矛盾和人民内部的矛盾。在劳动人民之间说是非对抗性的，毛主席告诉我们必须划分敌我和人民内部矛盾两类矛盾的界限。正确处理人民内部矛盾，才能使无产阶级专政巩固和加强。

2，社会主义社会是一个相当长的历史阶段，在社会主义这个历史阶段中存在着阶级，阶级矛盾和阶级斗争。存在和社会主义同资本主义两条道路的斗争。存在着资本主义复辟的危险性。在生产资料所有制的社会主义改造基本完成以后，阶级斗争并没有结束，无产阶级和资产阶级之间的阶级斗争，各派政治力量之间的阶级斗争，无产阶级和资产阶级之间在意识形态方面的阶级斗争，还是长时间的，曲折的，有时甚至是很激烈的。

3，无产阶级专政下的阶级斗争在本质上依然是政权问题，就是资产阶级要推翻无产阶级专政，无产阶级必须在上层建筑，其中包括各个文化领域中对资产阶级实行全面的专政。我们对他们的关系绝对不是什么平等的关系，而是一个阶级压迫另一个阶级的关系，即无产阶级对资产阶级实行独裁或专政的关系，而不是什么别的关系。例如，所谓平等关系，被剥削阶级同剥削阶级的和平共处关系，仁义道德关系等等。

4，党内一小撮走资本主义道路的当权派，就是资产阶级在党内代表人物。他

们是一批反革命的修正主义分子，一旦时机成熟，他们就会夺取政权，由无产阶级专政变为资产阶级专政。我们要巩固无产阶级，就必须充分注意破睡在我们身边的赫鲁晓夫那样的人物。

5，无产阶级专政下继续进行革命，最重要的是要开展无产阶级文化大革命。无产阶级文化大革命，只能是群众自己解放自己，要让群众在这个大革命运动中自己教育自己，这个无产阶级文化大革命，运用无产阶级专政下的大民主的方法。自下而上地放手发动群众，同时实行无产阶级革命派大联合，实行革命群众，人民解放军和革命队伍的革命三结合。

6，无产阶级文化大革命在思想领域中的根本纲领是斗私批修。无产阶级文化大革命是触及人们灵魂的革命，是要解决人们的世界观问题。要在政治上、思想上、理论上批判修正主义，用无产阶级思想去战胜资产阶级利己主义和一切非无产阶级思想，改革教育，改革文艺，改革一切不适应与社会主义经济基础的上层建筑，挖掉修正主义的根子。毛泽东同志提出的上述这些关于无产阶级专政下继续革命的理论，天才地创造性地发展了马克思列宁主义关于无产阶级专政时期阶级斗争的理念，天才地发展了无产阶级专政的观念，具有划时代的意义，在马克思主义发展史上树立了第三个伟大的里程碑。70.3.4

亮私不怕丑，斗私不怕痛。恨触灵魂，狠抓大节。少讲过程，错了就改。分秒必争，讲求实效，落实行动。毛主席说……物质的东西决定精神的东西……。是同时又承认而且必须承认精神东西的反作用，林副主席说物质是第一性的，精神是第二性的。第一性的东西不一定总是第一等重要，有时是第二等，第三等重要。政治思想工作的过程是一个由量变到质变的过程。由低向上一高级的过程，是不断提高，不断加深，不断革命的过程。许多人常常有一个错误，就是不注意量变，会引起质变，把不同的量当成相同的量，把不同的质当成相同的质。我们一定要按着毛主席的教导，敢于斗争，敢于革命，革命善于斗争，善于革命。我们一定要有雄心壮志，一定要有革命干劲，要使劲跑在前面。

战备教育阶段小结（个人）3月7日

内容 战备教育 团结教育 继续革命教育。

指导思想：就是高举九大团结胜利的旗帜，以战备为纲，以整建党教育为重点，用毛泽东思想实现五个统一，用战备的观点观察一切，检查一切，落实一切，战备促进团结，用战备来推动我们的思想。用战备来搞好思想革命化，提高在无产阶级专政下继续革命的自觉性。通过三段的学习，总的来说思想上认识上都有所提高，收获还是很大的。概括地来说，是巩固无产阶级专政。权的问题如何掌握好权，保好权，从个人角度，是斗私批修，彻底改造世界观，兴无灭资，为共产

主义的奋斗继续革命。

一，战备教育。通过参观，忆苦思甜，揭发苏修及唐山战备介绍等各种形式的学习，认识到帝国主义的本性，政治上的反动性，军事上的冒险性。战争发动，突然袭击性，帝国主义就是战争，帝国主义就是屠杀，帝国主义就是侵略。日本帝国主义侵略中国从1931年9,18事变到1945年投降整整14个年头，实行三光政策，有多少革命先烈为革命而牺牲了生命，有多少无辜老百姓被杀害，多少人家破人亡，妻离子散，流离失所，当亡国奴。这一笔血债累累，滔天罪行是万万不能忘记（潘加峪的斗争只是个实例）。这民族恨，阶级仇，永远不能忘记。苏修叛徒集团上台以来，篡夺了列宁斯大林缔造的社会主义国家，已经由社会主义国家变为帝国主义法西斯党。在国内进行法西斯镇压，掠夺，欺诈，勒索；在国外进行侵略。56年以来至今对中国共产党是仇视的。想篡改国际法侵略挑衅在中苏边境珍宝岛，黑龙江等地，还进行5886次的武装侵略，破坏生产，损害我国工农民、牧民，犯下了滔天罪行。当前又再调大量的军队到中苏边界。飞机坦克，设置军事基地，以我中国为目标的进行演习。已经摆好了战争的架势。随时都有爆发战争，突然袭击的可能。通过这些自己在思想上有了战备观念，从不认识到认识，而且要变被动为主动，过去在这方面的和平麻痹思想，轻敌思想是很严重的，总认为苏修不敢打起来，即便打，首先有以毛主席和林副主席领导的中国人民解放军，有七亿人民中国的强大，打起来没有他的好处，一来无回。同时也深深体会到毛主席提出的提高警惕，保卫祖国，要准备打仗，……全世界人民就应以革命战争消灭侵略战争。从现在起就要有所准备的号召，是有深远意义和现实意义的，是向中国人民和世界人民拉向的战斗号令。我们内蒙处在保卫祖国的北大门，反修前线，应该立即行动起来把内蒙当成埋葬帝、修、反的钢铁阵地。

二，团结问题也是同样，没有高度的认识和理解，只是认为一般人与人的关系，同志间的关系，群众关系而已，通过九大团结精神，毛主席的重要讲话，才认识到团结起来，才能争取更大的胜利，才能巩固无产阶级专政团结起来共同对敌，团结起来准备打仗，没有团结，就没有革命，搞不好团结就是分裂革命队伍，就是革命的罪人，就是帮了敌人的忙，就不够中国人的资格。尤其在当前大军压境，苏修这样嚣张，疯狂，如果不团结，帝修反一旦突然袭击打来了，就不得了，团结了就了不得，因此团结与战备的关系是很密切的，以战备促进团结。团结是阶级与阶级的关系，是关系到民族存亡，国家安危的关系，团结与革命的关系。要在毛泽东思想基础上搞好团结，毛主席在团结上给我们树立了很好的示范。要胸怀祖国，放眼世界，为解放全人类而团结。内蒙文化大革命后期，没有按主席指示办事，政策落实不下来，从上而下闹分裂，到处瘫痪状态，对战备工作直接影响到，甚至是很危险的。敌人来了，头掉了，还不知是怎么掉的呢。通过学

习有了深刻的理解。自己在这方面，感到对立面不大甚至没有，仅是一般同志关系互相了解互相关心，走了第一步，但仍是存在缺点，有些过去当过领导的同志不敢自动找他谈心了解，是一个阻力。还需要加快步伐，冲破各种障碍搞好团结，增强党性，消灭派性求团结。

三，继续革命学习：毛主席关于无产阶级专政下继续革命的理论，学习后认识到社会主义社会还存在阶级，阶级矛盾，阶级斗争。两个阶级，两条路线的斗争，存在着资本主义复辟的危险性，革命还没有完，斗争还在深入，还在继续。大体在政治思想战线上，意识形态思想领域里的资产阶级思想的斗争还是很复杂曲折艰巨的。认识上提高了。以王国福为榜样，拉车不抢套，舍己为公，对照自己。

尤其走了二十年的和平生活，认为已经取得了胜利，无产阶级专政掌握了政权，没有大的动向，认为拿枪的敌人不在了，只是进行和平建设，上班工作，下班回家就得了。这就是革命，看不到阶级斗争，因而就产生和平度日，活命哲学的思想。太平度日，产生着资产阶级庸俗的生活小圈子里，没有关心国家的事业，革命的事业，处处为自己利益着想，贪图安逸，讲求舒服。工作一般也还不错，已经满足于现状，孩子们也大了，负担也不重，再过几年算了事，已经陷入到私字变修的泥坑里边，资产阶级思想浓厚，要彻底改造世界观，要彻底消灭资产阶级世界观，斗私批修要狠斗私字，大立公字，破私立公。另外在思想上检查一下，自己有无自卑，主要是政治上怎到参加工作这些年，没有参加组织，有表现情绪，埋怨领导埋怨组织。文化大革命造反派，在文化大革命中触动了一下自己更感到怨气冲天，感到委屈，认为革命了半天闹了个什么，因而憋气，甚至不服气等都活动起来，无政府主义专家。年龄也大了，本事也不太大，再混上几年也就算了，当一天和尚撞一天钟，混革命，意志衰退，渐渐下坡下来，经过学习，感到是很危险的，对革命是不利的，应立即醒悟，起来斗私，放下各种包袱起来革命，继续革命，要以党的五条标准要求自已，为中国和世界革命而贡献自己的力量，差距。对明显的敌人容易识破，对暗中的敌人嗅觉不灵敏，感性不强，不容易识破是个问题。

对团结上一般干部容易谈心，按对过去当过领导的人不愿接近讲话，怕伤害自己。如何解决：1，很好的活学活用主席著作。2，对人对己要一分为二，相信别人，相信自己。要下定决心，不怕牺牲，争取胜利，克服一切困难。完成党中央交给我们的学习任务（来个四个大转弯，工作，思想，生活，作风）

最高指示

毛主席教导，我们已经取得了伟大的胜利，但是失败的阶级还要挣扎，这些人还在，这个阶级还在，所以我们不能说最后的胜利，几十年都不能说这个话，

不能丧失警惕。总是学习，开阔心胸，放大了眼界，革命有了奋斗目标，有了方向，有了奔头。自己虽然未参加党组织，但是国家都要以新党章规定及接班人条件约束自己，鞭策自己。以解放军为榜样，发扬艰苦朴素的工作作风，抗大式的理论联系实际的以及批评与自我批评联系群众的好学风，以战斗的姿态来个大的转变，思想上工作上生活上、作风上都要来个雷厉风行，立足于一个不怕苦，二不怕死的精神完成各项学习任务。大海航行靠舵手，干革命靠毛泽东思想。爹亲娘亲不如毛主席亲，河深海深不如阶级友情亲，天大地大不如毛主席的思想大，千好万好不如社会主义好。

三八妇女节

毛主席教导说：时代不同了，男女都一样，男同志能办到的事情，女同志也能办得到。

70.3.9 副指导员来连总结战备阶段学习

一，这段学习基本情况 从2月10日---3月9日 共28天，主要做了以下几项工作。

1，动员，大动员，统一过讨论

2，九大精神学习，战备，继续革命。动员。明了这一步，学习重要性，端正学习态度。表决心，誓师大会班，拍，挑应战，为这一段打下了良好基础。

二，九大精神教育

认识学习了毛主席关于团结教导，讲话，指示，通过学习讨论，提高了对团结认识，比较明确，团结与战备，继续革命的关系，能批判派性，从理论上提高了，行动上还只能说出现了团结气氛有了表现。

三，提高警惕，保卫祖国要准备打仗教育。

学习了文件，唐山介绍战备，联系到内蒙，找了差距。认识到内蒙运动落后于唐山。潘家峪报告之后，班里忆苦思甜提高了民族苦阶级恨，提高了认识要准备打仗意义。认识了美帝苏修本质，提高战备观念。

四，继续革命教育：学习伟大理论，认识了为什么要继续革命和怎么样革命。通过三查，对继续革命有了初步认识，初步接触了思想。这次学习贯彻一条红线，贯彻一条路线，狠抓总结。

一条红线：高举毛泽东思想红旗，学习毛主席著作，根据学的内容，选学主席语录，提高路线斗争，阶级斗争觉悟。

一条路线：群众路线的教育方法，进行正面教育，以自我教育，自我革命为主，贯彻了一个自己教育自己，自己解放自己，突出抓了一个理论联系实际的好学风。

一个总结：总结是整个学习阶段的一个继续，总结是加深斗私批修的继续。通过这一段学习，思想上比较明确的，行动起来啦。通过这段学习，进一步明确几个问题。团结问题，准备打仗，继续革命。团结问题：九大以后成立了毛主席为首，林副主席司令部，再不闹团结，就是对毛主席的最大不忠。团结一切可以团结的力量，是毛主席历史方针，毛主席为我们做出了光辉榜样，党章也有明确规定，我们可以对照检查一下，我们做得不太好的表现：1，团结和自己意见相同的人，没有问题可以谈。2，团结和自己意见不相同的人考虑一下再说。3，团结和自己意见不相同的人及对自己的人没门。这样我们的团结是够好的。团结与否是阶级与阶级的关系问题。团结与否是执行什么路线问题。

五，只有团结起来，才能巩固无产阶级专政。只有团结起来，才能战胜国内外一切阶级敌人。团结不团结：是革命与不革命的问题，是执行没执行主席指示，是对主席忠不忠。挖社会主义墙角，替敌人打自己。1，不搞好团结是共产党员就不够共产党员资格。2，不搞好团结是共青团员就不够团员资格。3，不搞好团结是国家干部就不够干部资格。4，不搞好团结是国家干部就不是中国人的资格。

闹不团结就是革命罪人，就是不顾大局。为什么不团结，原因：1，受到刘少奇反革命修正主义路线影响。2，隐蔽在革命队伍里的阶级敌人的挑拨3，头脑里私字作怪或受极左思想影响。4，没有党性，党性不纯。5，资产阶级世界观没有受到改造的反映。毛主席教导我们说，虚心使人进步，骄傲使人落后，要克服骄傲情绪。

搞好团结必须开展批评和自我批评，强调自我批评不能自我批评，就不能批评别人，没有这个武器，团结是搞不好的。失去斗争的团结是国民党的团结。失去斗争的团结是唯心的团结。所以一切不利团结的言行必须克服。有斗争的团结是马列主义毛泽东思想的团结。

六，战备教育阶段：1，要深刻领会要准备打仗的伟大意义，是在什么形式情况下提出来的，是分析国际形势，国际斗争分析的科学论断，联系两次世界大战的经验，我们不能不提，我们高度警惕和要准备打仗。2，要认识到帝国主义就是战争，帝国主义有在就要有战争危险，战争就是解决阶级与阶级，民族与民族，斗争发展最高斗争形势。也是私有制的必然产物。美国苏修是世界革命人民的敌人。3，要准备打仗，毛主席九大指示伟大号召，是针锋相对反帝修反，疯狂发动侵略战争的战斗号召，敌人磨刀，我们也要磨刀。4，认清苏修社会帝国主义反动本性，苏修是个啥东西，九大政治报告，一，赫秃一上台，是隐蔽在党内的走资派，篡夺领导权，是叛徒，是国际共产主义的内奸。二，打着社会主义招牌的帝国主义。蜕变，变成法西斯国家，变成法西斯党，变成法西斯军队，变成对外侵略和扩充，变成资本主义经济，“十个大国，有经济基础，有军队有核武器”，蜕变者们不同别的九日利用这个条件，对内镇压对外侵略，所以称为社会帝国主义。是我们最主要最凶恶最危险的敌人，魔爪比老

沙皇伸得更长企图侵略我们就是敌我矛盾。

积极行动起来，作好一切反侵略战争而准备。1，活学活用毛泽东思想是消灭战争，反侵略战争的强大思想武器。（精神准备）2，最关键最核心的问题是团结问题。我们团结得像一个人一样，就能无敌于天下，准备的好坏，关系到打的好坏，关系到巩固无产阶级专政，关系到世界革命问题。

认识内蒙所处地位，内蒙是反修最前线，主要战场，祖国北大门，占北京必经之路，所以我们要只有只争朝夕的精神，作好反侵略战争准备，回头看看内蒙，战备情况怎样，能不能适应战争需要，精神不足，物资不够，行动不快，大敌当前，精神面貌工作态度却不适应，可以以我们都要做好精神准备，从思想到工作，从生活到作风，都要转到打仗上来。

关于继续革命问题：1，弄清为什么要继续革命，学习毛主席在无产阶级专政下继续革命的六个要点。要认识到社会主义社会是一个相当长历史阶段。还有四个存在，存在着阶级，阶级矛盾和阶级斗争（党章规定），要解决这些矛盾，要靠毛主席的理论，告诉我们革命没有完，革命在继续。2，在无产阶级专政下的阶级斗争，实质上仍是一个政权问题。夺取政权，为了保好权，掌好权，巩固政权就要继续革命，夺取政权只是万里长征走完第一步。3，新党章总纲指出：要彻底推翻资产阶级和一切剥削制度，实现共产主义。最终目的还未实现，要继续革命。4，如何继续革命。一个目标四个明确。弄清一个目标，明确一个岗位，明确一个动力，明确一个标准，明确一个方法。

一， 目标：就是解放全人类，实现共产主义。

二， 岗位：胸怀全局，搞好本职工作，就是要继续革命。

三， 动力：活学活用毛泽东思想，改造世界观，使自己适合于世界革命的需要，这是继续革命征途的动力。

四， 四个标准：毛主席教导的我赞成这个口号。叫作一不吃苦，二不怕死。像王国福同志那样，搞革命决不松套，一直拉到共产主义。

五， 方法：要斗私批修。消灭三气，团结起来继续革命，扫除障碍，影响革命有各种原因，有突出的代表性的，三气作怪，三气十足，埋怨领导，埋怨组织，就是不埋怨自己。就是入党作怪论的流毒，在头脑中为弄清，三气就是入党作官论的反版。

存在的问题。1，有满足的表现，缺乏扎扎实实的效果，满足于学习到的一点收获，满足现状，轰轰烈烈满足于学形势大好，满足于对于学习认识已经达到了顶点，对学习中的问题看不见，这使下一步学习的最大障碍，不进步的开始，不求深入的开始。毛主席教导我们，不要自满，多做自我批评，还要继续求进步，关着门看自己进步多少，固步自封得分。影响下一步学习引起注意。2，团结问题：我们有团结的形

势和表现，在大事所迫的情况下，过去不讲话的讲了，但真正做到像8.28两会那样团结得像一个人一样还远远不够，在部分同志中间还是貌合神离。3，学习问题：学习中间，有理论脱离实际现象。理论一大套，行动不对号，脱离实际空谈，脱离实际理论，以理论论理论，脱离具体原则。该具体现象具体调查，强调观点，只能当革命对象，只能批评别人，只能当领导，不能当被领导，不能被别人说自己。

要斗私批修。总的讲还是不错，但姿态不高，斗的不深，没有从灵魂深处爆发革命，还有带着私心斗死心，越斗私心越多，带着三气斗三气，越斗越浓，以私字为圆经，只查只亮不批，敷衍了事，学习态度还要进一步端正。

朱政委讲话：

一，对中央首长讲话重要性要有充分的认识，中央首长首次接见作了重要指示。1，首长指示比较全面，有针对性，对内蒙问题很重视；对学习班很关心；对内蒙干部很爱护。同志们对内蒙要有一个统一的认识，对自治区文化大革命有一个正确的估价。2，达到一个目的，为成党校性质的学习班，就是要按党的原则，主张，对待一切问题。3，要认识内蒙阶级斗争的严重性，要以阶级斗争观点看待内蒙问题的严重性，民族问题，说到底就是阶级斗争问题。4，最后一个问题是团结对敌问题，派性过去比权大，有人企图把水搅混，被敌人利用，我们要团结起来，共同对敌。5，另外一个重要性，为什么这样正确打中要害，中央首长是根据毛泽东思想，根据党的各项政策。

二，学好，真正吃透中央首长报告，要认真动脑筋，要独立思考，很好地想一想，要多问几个为什么？首长讲话每一句有很多的意思，要挖一挖脑子。联系内蒙实际，学习班的实际以及思想实际。内蒙实际是大量的，阶级斗争实际，内蒙有几次反复大家都例外。学习班的实际也不少，哪一天也有不少，还有谣言，有违背中央毛泽东思想学习班的动作，来了以后还搞反动作。思想实际三个文化大革命有这样那样的想法。

三，要吃透精神，要有个正确的立场、观点、方法。立场是无产阶级的还是资产阶级的；是集体主义立场还是个人主义立场；是党性立场还是派性立场。最根本的是一个立场，否则中央首长讲话，正确的也是听不进去的。伯达同志为叫我们学好，排除干扰作了观点指示，对我们的关怀，可是有人歪曲，什么宪法规定，这个按个人主义立场，还是按个人主义立场，宪法是为无产阶级利益服务的。

过去有些人耍两手派，中央不让讲。讲了，中央让讲的不讲，没有一个正确的立场是不行的。最大的障碍是派性，在学习班有些人有进步，有些人有收获，有些人继续搞“二手”。有些人过去参加过中央学习班，听了中央首长指示就说和去年讲得差不多。是错误的……

中央首长很明确地指出，一个是派性，一个是二专派，有的一离开北京耍两专派，

这次要重学习，要带头学好，学得更好一些。

内蒙问题，给中央教训不少，有些人就是在搞小动作，干扰中央指示落实。

68年6月份进驻过的工人说，毛主席接见我们五六分钟，接见你们几个小时，你们不听毛主席的话。

希望同志们勇敢地跳出这个派性的组织，打烂派性思想枷锁，从派性中解放出来。要看派性的顽固，要砸烂它。派性组织虽然没有了，但他在人们的头脑里根子很深，需要学习毛泽东思想，把自己从派性枷锁中解放出来，有人对军管想不通，说军管制夺了红色政权的权，想不通，有什么想不通的，自己管不好，军队来管有什么不好。内蒙指称那样不伤心，军官则伤心了，什么立场。

要唯物地，辩证地去分析内蒙的是非，唯物就是实事求是，全面地分析，全面地看内蒙问题。不要片面地看问题，不要主观，要客观。没有正确的立场是不行的，一定要用毛泽东思想统一我们的认识，要讲心里话，“两小”两面派，实用主义是最坏，最坏的东西。

3月13日上午 据回忆整理：传达中央首长指示（12班同志）

中央首长两次接见中央学习班内蒙班临时党委成员：

一，时间：2月25日下午 4时50分到8时13分

黄永胜，李作鹏，李树德，地址，京西宾馆

二，时间：3月2日上午 9点到11点10分

总理，康生，春桥，副治，永胜，法宪，作鹏，会作，德生等十位首长，地址：人大大会堂。

讲话精神

一，中央首长对学习班生活上非常关心。

要好好教育他们，他们有在群众里涌现出来的都还年轻，他们做了很多有益于革命的事，党是保护他们的，所以让他们来学习，不要搞得灰溜溜的。不安排批滕派，5，22派来说。要按毛泽东思想看，犯错误十个有九十个没有听毛主席的话。错误有大、中、小，态度友好、中、差，犯错误要接受再教育。这是毛主席的话。要总结经验，要回到毛主席的革命路线上来。

对毛主席指示贯彻好的，形势就好，贯彻不好的，形势就不好。你们搞了2000多对一对红，四千多人这种空气很好嘛。

有1000多少民族干部学员要注意民族政策，好好教育他们，防止坏人挑拨民族关系。那里有不少领导干部，解放了没有？

女学员有900多，要告诉她们好好学习。

你们挖煤很好嘛，一个月劳动一次太少了。要多搞点劳动，春天来了多种点菜，可以到附近各农场劳动，要造点政治空气，要造点劳动空气。

内蒙战略地位很重要，过去是大后方，很多工业都还在那里，内蒙是新兴工业区，军事上经济上都很重要。

内蒙是北京的北大门，是反修战略的重要方向。中央对内蒙很重视，实行分区全面军管，很快立竿见影。

中央对内蒙问题采取两个措施，一个是分区全面军管，发动群众大联合，抓革命，促生产，促战备。

另一个是把一部分干部调出来集中办学习班。这样不互相连累，不互相牵连，搞个新的环境，没有人干扰，可以集中精力学习，可以加速解决内蒙问题。内蒙问题得不到迅速解决，伟大领袖毛主席，林副主席是不放心的。这个措施是非常英明的。要好好学习毛泽东思想，学习毛主席革命路线，学习无产阶级政策，要打好底子，要学习好，劳动好。

二，活学活用毛泽东思想，办好党校性质学习班。

中央办的毛泽东同志学习班是党校性质的，是在毛主席身边，有很有利条件办成党校。这是党中央毛主席对内蒙700多万各族人民的最大关怀，最大教育，最大鼓舞，最大鞭策。

既然是党校性质的，顾名思义，就要按党员的要求，党的要求，无产阶级的要求办好学习班。要叫大家懂得党的性质，党的领导，党的民主集中制，新党章中党员必须做到的五条……要用党的观念党的原则办事，用毛泽东思想统帅一切。

要用毛泽东思想解决内蒙问题，解决学员带来的问题，解决所有问题。提高毛泽东思想觉悟，要学习毛主席指示，学习林副主席的指示，要学习毛主席视察三区的指示，九大文献和新党章。

11，12日晚

68年发的7、3；7、24布告，8、28两会，5、22批示，中央最近发的三个重要文件，以及其他文件有些人几年没做工作了，没有学习。有的人学习了，也是各取所需，要重新好好学习。

要用毛泽东思想搞尺子，要用毛泽东思想高标准，要用毛泽东思想武装头脑。还要对照检查批判，凡是符合毛泽东思想的是好同志，就要支持。不符合毛泽东思想的就反对，就要批评帮助。凡是反对毛泽东思想的就要批判斗争。

无产积极党性和资产阶级派性的斗争，实质是阶级斗争，批判派性尧和阶级斗争结合起来。派性批派性，什么也解决不了。不要讲什么批滕派，5、22派。要讲党，要讲毛主席领导的党，要讲无产阶级，要讲共产党员。要做共产党员，不

要当派员。不要把共产党员，无产阶级先锋队，降低到一般群众水平。

共产党员就要站在党的立场上，站在无产阶级政策的立场上，站在党的利益的立场上。要用党员标准和党性衡量，斗私批修，开展革命大批判，在毛泽东思想基础上团结起来，批判错误的东西，错误的思想，错误的作法，错误的认识……。提高毛泽东思想水平，提高毛主席的无产阶级革命路线觉悟，提高无产阶级觉悟，提高无产阶级政策水平，提高无产阶级党性。

要求党员填个登记表，每个共产党员却要填个表，什么时候入党的，什么地方入党的，介绍人是谁，家庭历史等，有的过去没有交代，隐瞒的问题现在交待了也好嘛。

三、要抓阶级斗争，要有敌情观念

内蒙地处反修前线，北京的北大门，战略地位十分重要。无论在军事上，经济上都是重要的。是反修作战的战略方向。过去内蒙是大后方，有很多重工业和军事工业，是一个新兴工业区。内蒙离苏修很近，内地有很多地富反坏都跑到哪里了，敌人很重视这个地方。内蒙的阶级斗争是复杂的，尖锐的敌情是严重的，比其他的地方都严重。

从文化大革命开始，敌人就想把水搅浑，使毛主席，林副主席的指示不能落实。把内蒙搞得非常乱使毛主席的各项无产阶级政策不能落实。内蒙问题是由各方面的因素造成的，但本根的主要的是阶级敌人的破坏，把水搅浑。阶级斗争有政治领域，思想领域的。

内蒙的四分之一汽车没有了，有的把公家的汽车没有了，有的把公家汽车变成自己的，跑到全国各地做买卖，甚至把汽车零件都卖了，贪污偷窃，投机倒把，这个问题很严重。敌人兴风作浪，不搞联合，不搞生产，钢铁生产不出来，包钢生产几个月是个零。有的是阶级敌人捣乱，有的是资派挑动，这些人不挖出来内蒙不会巩固。

要注意一个问题：有人不讲阶级斗争，这是阶级调和论，是刘少奇那一套东西。没有阶级斗争，内蒙怎么会那样乱呢。

内蒙敌人没有挖出几个，对现行反革命打击不力。有人说内蒙阶级路线清楚了，就是说不要搞清队了，这种说法是错误的。如果说阶级阵线清了，内蒙就不会搞得那么乱，形势早就好了，长期打内战，现在还有人包庇坏人，这就不对了。寡妇上访团，就是有人挑动的嘛，有的是走资派挑动，要把他们挖出来。

清队的大方向是正确的，扩大化是对的，5、22批示平反是对的，是中央批的。但要有阶级分析，一风吹是不对的，搞内党平反，不能给坏人也平了。清队还要搞，清队是文化大革命的重要战略部署，但放到后一步。

四，在毛泽东思想基础上团结起来，共同对敌。毛主席教导我们“国家的统

一，人民的团结”，国家各民族的团结，这是我们的事业必须要胜利的基本保证（团结的重要性）。大敌当前要团结起来共同对敌，团结起来反对修正主义。团结起来，反对帝国主义，社会主义，团结起来，反对一切阶级敌人。

党员中民族干部一千多，要搞好民族团结。前段时期挖内人党，不仅抓了少数民族，汉族也抓了不少。要注意团结，防止居心不良的人破坏民族关系。

毛主席教导我们，民族问题说到底是一个阶级斗争问题。要批判乌兰夫的民族分裂主义，批判是为了促进民族团结。

（派性，无政府主义起的作用）派性，资产阶级派性也要批判。批判派性和阶级斗争结合起来。就派性批判派性是解决不了问题的。敌人利用派性，派性帮助掩护敌人。无产阶级党性和资产阶级派性斗争，本质上就是阶级斗争，两派都有坏人，坏人是共同的，他们是反对革命，反对共产党及对毛泽东思想是共同的。现在还有人包庇坏人，这就不对了，就与敌人同流合污了。

要顾全大局。学习班是党校性质的，落实毛主席指示就是顾全大局。不要互相打官司，争高低。不要互相攻击，打官司的材料无用。要用毛泽东思想解决问题，要用自我批评解决问题。要提高到高度认识。

内蒙是主要战略方向。全国都要在加强战备，要顾全大局。没有敌情观念，不搞战备，不仅不是个共产党员的问题，而且是不是中国人也值得考虑。要在毛泽东思想基础上团结起来共同对敌。

大队会议 70.3.20 上午

三号文件：有的散布战争恐怖，造谣惑众，毛主席批示照办，有的偷窃国家机密为敌效劳。有的乘机翻案，不服管治；有的秘密串联，阴谋暴乱，有的贪污偷窃，投机倒把，破坏社会主义经济，有的破坏插队下放。

这些人虽然是一小撮，但无恶不作，危害很大。毛主席教导我们，解放以及我们肃清了反革命分子，反革命不多了，但还出。为了落实战备，巩固国防，巩固无产阶级专政，保卫文化大革命伟大成果，按照伟大领袖毛主席有反必肃的教导，为此必须坚决稳准，狠狠地予以打击。

1，放手发动群众，以战备观点，观察一切，稽查一切，落实一切。

2，要突出重点。打击的主要是现行的反革命分子。对那些通敌叛国，阴谋暴乱，刺探军情，盗窃机密，杀人行凶，纵火放毒，反攻倒算，恶毒攻击党和社会主义制度和抢劫国家财产，破坏社会治安的现行反革命分子，必须坚决镇压。

3，要严格区分两类不同性质，分清敌我，区别轻重。根据“首恶者必办，胁从者不问”的原则，对不同的犯罪予以不同的处理，对那些气焰嚣张，罪恶累累民愤极大，不杀不足以平民愤的反革命分子要坚决杀掉，对那些罪恶虽属严重，

但民愤不大者可分别判以死缓或无期徒刑；罪行较重，可交群众严加管制。在斗争中要实行“坦白从宽，抗拒从严”政策。促使他们坦白交待，立功赎罪。

4，要大张旗鼓的，广泛深入地做好宣传动员。转判之前交群众讨论，做到家喻户晓，人人明白。转判时召开群众大会，公开宣判，立即执行。这样才人心大快，让敌人畏惧。但是数人不可过多，杀的应是极少数。判得也不多，管的是大多数。不论是交关，管，都要作准必须罪证确凿，判处得当，都要交给群众、批判、斗争，把他们斗倒、批臭，达到群众专政目的。

5，要统一掌握批准权限按照中央规定：杀人由省市自治区革命委员会批准，报中央备案，主要案犯，要用电报，直报中央审批。

6，要加强领导，必须首长负责，亲自动手。具体指导特别严防用资产阶级派性，混淆敌我，加强调查研究，严格审查捕人和教管人，备案。

70.1.31 五号文件：反对贪污盗窃，投机倒把的指示

当前我国产生革命形势一片大好。随着斗批改深入发展，一个工农业生产新高潮正在出现，这是我们伟大的红太阳的胜利。但失败的阶级还在挣扎，一小撮阶级敌人，不仅在政治上，而且在经济领域里与暗藏在国家机关的坏人和阶级敌人内外勾结，利用无政府主义和资产阶级派性，煽动反革命经济主义妖风，乘火打劫。破坏社会主义经济基础，破坏常备，破坏无产阶级专政。他们有的侵吞国家财务，霸占公房共产，有的利用机关学校和企业的撤销合并，私分公款公物。有的倒贩票证，倒卖国家物资，有的私设地下工厂，地下商店，地下包工队，地下运输队，地下贸易。有的行贿受贿，专设自私分商店；有的大搞黑市活动，牟取暴利。他们千方百计以腐蚀侵袭分化瓦解，拉出去打进来的手段，企图瓦解革命队伍破坏新生的革命委员会。这是新形势下阶级斗争的新动向。对于这种情况，有些地方已经引起重视，正在发动群众展开斗争，并取得了成效。但是还有不少地方认识不足，打击不力。

毛主席教导我们，一切反抗社会主义革命和敌视破坏社会主义建设的社会势力和社会集团，都是人民的敌人。粉碎阶级敌人在经济领域里的进攻，是保证社会主义的斗争，是全党的一件大事，必须把这场斗争看作如同打击现行反革命的斗争那样重要，一样要发动广大群众去进行，一样要大张旗鼓地进行，一样要首长负责亲自动手，开展一切反对贪污盗窃投机倒把群众运动，要承办一切大中小违法乱纪行为活动，轻者批评教育，重者撤职查办，判处徒刑，最严重的贪污犯，投机倒把犯，直接枪毙，才能解决问题。

1，各地要根据斗批改的发展情况，全面规划具体布置，放手发动群众，打一场人民战争，形成一个大检举、大揭发、大批判、大清理的高潮，要选择典型案

例，交给群众讨论，召开群众大会，大造声势，发挥无产阶级政策威力，狠狠打击阶级敌人的反革命气焰。号召反有贪污、偷盗、投机倒把罪行的人，坦白交待，检举揭发主动赎罪。

2，要自始至终，以战无不胜的毛泽东思想为武器，开展革命的大批判，批判阶级敌人的破坏活动，批判资产阶级倾向，批判资产阶级的同志作风，彻底肃清刘少奇反革命修正主义流毒，使广大群众擦亮眼睛，及时地识破他们，压制他们，揭发他们。使阶级敌人无处藏身，没有活动市场，巩固城市社会主义阵地。

3，要实行多数从宽，少数从严，坦白从宽，抗拒从严和给出路的政策，着重打击大贪污，盗窃犯，投机倒把犯。对混淆贪污、偷窃犯、投机倒把等采取教育，改造不得重犯的方针。利用矛盾争取多数，反对少数，各个击破，稳准狠地打击一小撮敌人。贪污盗窃必须一律退赔，私分公家财物必须一律退赔，投机倒把必须补税罚款，不许例外。

4，通过这场斗争，必须认真整顿财贸队伍，对混进来的坏人要坚决清洗，一贯表现坏，不合作财贸工作的要区别情况予以处理，要调部分文化大革命中的积极分子充实财贸队伍。

5，为了杜绝贪污盗窃，投机倒把，不给阶级敌人有可乘之机，中央重申：除了国营商业，合作商业和有证商贩以外，任何单位和个人一律不准从事商业活动。集市管理必须加强，一切按照规定，不许上市的商品一律不准上街。除了当地部门许可以外，任何个人、单位不得到集市农村，社队来讲商品，不得以协作为借口以物异物，不准乱收费。一切地下工厂、商店、包工队、运输队、必须坚决取缔。一切单位的经营管理和群众监督，必须加强群众监管，促合经济制度，严格财贸纪律，堵塞漏洞。

中央号召全党、全军全国人民遵照主席千万不要忘阶级斗争教导，积极行动起来，在党的领导下，团结一致，对资产阶级进攻开展坚决斗争，巩固和发展社会主义经济基础，巩固无产阶级专政。

70.2.5 六号文件

中共中央关于反对铺张浪费的通知

当前全国各地，遵照主席“提高警惕，保卫祖国”的教导，可只有些单位大兴土木讲排场，讲三阔气，请客送礼，大兴土木——这样行为严重影响当前战备，影响社会主义建设，社会主义革命，应引起高度重视。中央认为坚决勒令节约，反对铺张浪费，是关系两个阶级两条道路两条路线斗争的大事。没有艰苦奋斗的作风，也就没有坚定正确的政治方向，必须在全国范围内展开——中央重申：1，严禁信件，扩建和改建楼房，已经动工的要停下来。由当地革委会处理。2，任何

地方不许建设高标准的城市。不许任意拆除房屋。目前已经施工的由革委会重新审查，酌情处理。3，一切新建扩建企业和五七干校应发扬艰苦朴素作风，一切作生产运筹，一律从简。4，一切机关、军队、工厂学校企业、事业单位一律停止非生产性设置，物资需要时由内部调剂解决，严禁用存款购置物品。5，严禁用公款请客、送礼、看戏、看电影。不要搞不必要的庆祝活动，更不许借庆祝活动搞铺张浪费。6，违反上述规定者，给予党纪或行政处分，性质严重的给予刑事处罚。7，严格遵守财政制度加强财政监督群众监制，中央号召全党全国军民严格杜绝铺张浪费。

70、2、10

这三个文件是我们伟大领袖毛主席亲自批准照办的，是党中央的伟大号召，是打击帝修反别动队的斗争。是打击苏修，是一切实际阶级斗争，是一件大事。是当前对阶级敌人的斗争，是对广大人民莫大鼓舞，对阶级敌人莫大打击。这是毛主席又一伟大战略部署，是阶级斗争需要，是战备需要，是巩固文化大革命需要。因此要认真学习讨论，深刻理解三个文件的精神，提高阶级斗争和敌情观念，提高认识，学习过程中要联系内蒙本单位实际，提高党性，消灭派性，团结起来共同对敌。在提高认识基础上，根据首长指示精神对过去没交待的问题进行交待，要忠诚地交代，对一切坏人坏事，坏人家也可以揭发。揭发不搞大字报，小字报。要讨论联系实际地学，要贴近去学，要提高认识这三个文件的精神。

最高指示

党组织应由无产阶级先进分子所组成，应能领导无产阶级和革命群众，对于阶级敌人进行战斗的朝气蓬勃的先锋队组织。我们的党，我们的队伍的必然其中的大部分是纯洁的，但是为要领导革命运动更好地发展，更快地完成，就应该从思想上组织上认真地整顿一番。而为要从组织上整顿，首先需要在思想上整顿，需要展开一个无产阶级对非无产阶级的斗争。需要斗私批修。以阶级斗争和两条路线斗争为纲，以50字建党纲领和新党章为基本内容。毛主席的建党思想，建党路线，深刻理解毛主席在无产阶级专政继续革命的理论，高举毛泽东思想的伟大红旗。

3月27日 中央办的毛泽东思想学习班，内蒙办建党选党教育计划

一，指导思想和学习目的

内蒙历史情况复杂，敌情严重，阶级斗争尖锐。文化大革命中又几经反复，两派长期对立，派性掩护了敌人，敌人利用了派性。阶级阵线不清，造成了内蒙不适应战备要求的严重情况。学员经过战备教育，思想认识有所提高，战备观念有所加强，出现了团结对敌的气氛。但仍有些人不能正视阶级斗争的严重性、复

杂性；不能正视团结对敌的重要性。（学习的重要性伟大意义）

根据中央首长的指示，必须办好党校性质的学习班。进行党性教育，增强无产阶级党性，消灭资产阶级派性。团结起来，共同对敌。因此在建党建党教育中，必须高举毛泽东思想伟大红旗，以阶级斗争和两条路线斗争为纲，以毛主席的50字建党纲领和新党章为基础内容，深刻理解毛主席关于无产阶级专政下继续革命的伟大理论和毛主席的建党思想，建党路线。从阶级教育入手，充分发动群众，深入开展革命大批判。

1，狠批刘少奇的反革命修正主义建党路线及其黑修养黑谬论。

2，狠批刘少奇在内蒙的代理人，反革命修正主义分子乌兰夫的滔天罪行。

大揭大批违背毛泽东思想的各种思想。提高阶级斗争和两条路线斗争觉悟，增强无产阶级党性，消灭资产阶级派性，加深对伟大领袖毛主席“三忠于”“四无限”的无产阶级感情。进一步在毛泽东思想基础上团结起来，共同对敌，做无产阶级专政下继续革命的先锋战士。

二，学习内容，方法，步骤

第一步：学习文件，掌握武器，提高阶级斗争和两条路线斗争觉悟，增强无产阶级党性，真正解决从思想上真正入党。要逐字逐句地学习和深刻理解毛主席的五十字建党纲领新党章，认真学习林副主席在九大的政治报告的五、六部分和关于纠正党内的错误思想。整顿党的作风，及在延安文艺座谈会上的讲话等有关章节。明确党的性质，任务和党的领导作用，提高两条路线斗争觉悟，增强无产阶级党性，树立共产主义的伟大理想。

为了进一步增强对毛主席“三忠于”“四无限”的无产阶级衷情，激发对旧社会对刘少奇的刻骨仇恨，进行回忆对比，忆苦思甜。紧密联系内蒙阶级斗争实际和个人思想实际，狠批刘少奇的黑修养和黑“六论”，狠批反革命修正主义分子乌兰夫等的滔天罪行。在学习和忆比的基础上，对照自己在内蒙两个阶级两条路线斗争中的表现，查自己对毛主席革命路线的态度和无产阶级党性，提高阶级斗争和两条路线斗争的觉悟。增强无产阶级党性，消灭资产阶级派性。一言一行按党员的标准要求自己，按无产阶级党性原则办事。（联系自己）

第二步：充分发动群众，深入开展革命大批判。认真学习毛主席在无产阶级文化大革命中的一系列最新指示和中央“七、三布告”“七、二四布告”“七、二三布告”，“八二八”两会，“五、二二”批示，认真学习毛主席最新批示“照办”三个中央文件。以巩固无产阶级专政为目标，以捍卫毛泽东思想，捍卫毛主席革命路线的战斗姿态，站在无产阶级党性的立场上，彻底揭发本地区、本单位的阶级斗争和违背毛泽东思想的各种错误思想和错误倾向，彻底揭开内蒙阶级斗争的盖子。抓住阶级斗争和两条路线斗争的大是大非问题，狠批刘少奇的反革命

修正主义路线，狠批乌兰夫等的滔天罪行，狠批违背毛泽东思想的各种错误和错误倾向。在普遍揭发批判的基础上，根据揭发出来的事实，进行专题批判，上批下联，批深批透，批倒斗臭。

1，在思想和行动上划清毛主席无产阶级革命路线和刘少奇、乌兰夫等反革命修正主义路线的界限。

2，划清社会主义道路和资本主义道路的界限。

3，划清无产阶级党性和资产阶级派性的界限。

4，划清无产阶级世界观和资产阶级世界观的界限*（四个划清界限）

第三步：斗私批修，围歼资产阶级派性，改造世界观。要以对伟大领袖毛主席“三忠于”“四无限”的深远无产阶级感情，以无产阶级革命事业接班人的五条原则，共产党员的五条要求和“老三篇”为样，以英雄人物为榜样，发扬一不怕苦，二不怕死的彻底革命精神，亮私不怕丑，斗私不怕疼，在灵魂深处爆发革命。要在路线斗争上找问题，在世界观上找原因。从内蒙两个阶级，两条路线斗争中找教训，挖根源。大摆“私”字的表现，大列“私”字的罪状，大论“私”字的危害，控诉以刘少奇为代表的反革命修正主义路线和资产阶级派性对自己的毒害，狠批个人主义，加深对“私”字的仇恨。通过消灭资产阶级派性，紧跟伟大领袖毛主席，做无产阶级专政下继续革命的先锋战士，掀起赛革命、赛团结、赛进步的新高潮。

中央办的毛泽东思想学习班内蒙班临时党委 1970年3月7日。

最高指示 3月27日

办学习班，是个好办法，很多问题可以在学习班得到解决。

提高警惕，保证祖国，要准备打仗。

中央办的毛泽东思想学习班内蒙班学习计划。

中央办的毛泽东思想学习班内蒙班，是在伟大领袖毛主席和他的亲密战友林副主席的亲切关怀下，是在全国亿万军民加强战备“要准备打仗”的新形势下举办的。这是伟大领袖毛主席对内蒙各族革命人民的最大关怀，是更好地解决内蒙问题，加强战备，巩固祖国北大门的一项重大措施。办好这个学习班是关系到保证毛主席保证中央，保证伟大的社会主义祖国的一件大事，我们决心以临战姿态，圆满地完成党中央交给我们的这一光荣的艰巨任务。*（办学习班的主要意义）

根据中央对内蒙问题的一系列指示，根据内蒙当前文化大革命的形势和学员的思想情况，进行战备教育和整顿党教育，并准备在这一教育结束后，进行清队，整党工作。（三个根据）

一，中央办的毛泽东思想学习班，是党校性质的学习，要高举毛泽东思想伟

大紅旗，高举九大团结、胜利的旗帜，以战备为纲，以整建党教育为重点，全体学员努力活学活用毛泽东思想，提高阶级斗争和路线斗争觉悟，提高在无产阶级专政下继续革命的自觉性，增强无产阶级党性，消灭资产阶级派性，彻底改进世界观，用毛泽东思想统一认识，统一政策，统一计划，统一指挥，统一行动，团结一致，共同对敌。（指导思想和目的）

学习班自始至终要狠抓对毛主席，毛泽东思想，毛主席革命路线的态度问题。要把解决对伟大领袖毛主席的根本态度问题，摆在最高位置，作为最根本的任务。要从阶级感情上，从思想认识上，在灵魂深处解决这个根本问题。要把我们的每一言行，都要提高到对毛主席的根本态度来对待，锤炼对伟大领袖毛主席的无限忠心。*（一个始终为指导思想）

学习班必须坚决响应伟大领袖毛主席关于“提高警惕，保卫祖国，要准备打仗”的伟大号召，不断进行形势，战备教育，牢固树立全局观念，战备观念，以战备的观点观察一切，检查一切，落实一切，以临战姿态投入学习。要狠抓阶级教育，林副主席指示，“不懂得什么是阶级，不得的什么是剥削，就不懂得革命。不弄清过去的苦，就不知道今天的甜，还会把今天的甜也误认为是苦，要忆苦思甜，三亿三想（忆旧社会的苦，美帝的苦，忆新老沙皇的苦，想一想自己有没有忆苦，想一想自己头脑里有没有阶级敌人，想一想自己对继续革命的志度）”。提高阶级觉悟，克服资产阶级派性，团结起来，共同对敌，为巩固无产阶级专政而奋斗。

学习班自始至终要抓紧革命大批判。用毛主席关于无产阶级专政下继续革命的伟大理论武装全体学员的头脑，狠批刘少奇及其内蒙的代理人乌兰夫等的反革命修正主义路线，批判各种违背毛泽东思想错误同志和错误倾向，批判宗派主义，无政府主义，反革命经济主义，不断提高阶级斗争，路线斗争觉悟。*（二个始终指导思想）

学习班自始至终要狠抓斗私批修，从灵魂深处爆发革命，彻底的改造世界观，要强调各自要做自我批评，相信群众，依靠群众，让群众自己教育自己，自己解放自己。要大兴毛主席一向倡导的革命学风，理论联系实际，表里一致，言行一致，中央反对资产阶级两面派作风。（三个始终，指导思想）

要加强党的领导，加强党的观念，加强党性一切按党的原则办事。参加学习班的每一个共产党员，共青团员革命干部和一切革命分子，却要站在党的立场，以毛主席的指示和新党章的各项规定对照自己，严格要求自己，彻底改造世界观。要遵照林副主席指示，广泛开展赛革命，赛团结，赛进步的活动。*（要求）

二，为了达到上述目的和要求，拟采取如下做法：

第一步，进行战备教育。通过学习毛主席关于无产阶级专政下继续革命的伟

大理论和“团结起来，争取更大的胜利，要准备打仗”的指示，通过读形式，看未来，摆敌情，剥画皮，狠批刘少奇的“阶级斗争熄灭论”，狠批苏修的有限主权论，“国际专争论”，通过参观，访问、控诉等激发阶级仇，民族恨。深刻理解毛主席关于团结起来，争取更大的胜利，“要准备打仗”的教导的伟大意义。让学员胸怀祖国，放眼全球，牢固树立全局观念，战备观念，认清内蒙地处反修前线的重要地位，用战备的观点，观察一切，检查一切，落实一切，提高无产阶级专政下继续革命的党性，焕发革命精神，团结一切共同对敌，誓将中国革命和世界革命进行到底，彻底埋葬帝修反，胜利完成历史赋予我们的光荣任务。

主要学习文件：毛主席在“九大”期间分次极其重要的讲话，毛主席在无产阶级专政下继续革命的理论，毛主席关于“要准备打仗”，世界革命，加强团结等方面的语录，林副主席在九大的政治报告，“七、二三布告”，“八二八”两会，“五、二二”批示，中央两报一刊一九七零年元旦社论。

第二步，进行整建党教育。认真学习毛主席的无产阶级建党同志，学习林副主席在“九大”的政治报告，逐字逐句学习新党章。边学习，边对照，边检查，边提问，增强无产阶级党性，消灭资产阶级派性。进行忆苦思甜，开展革命大批判。

彻底批判刘少奇的反革命修正主义建党路线，黑修养“六论”，大揭大批刘少奇在内蒙的代理人乌兰夫等的滔天罪行；批判各种违背毛泽东思想的错误和错误倾向，批判宗派主义，无政府主义，反革命经济主义。用毛主席关于无产阶级专政下继续革命的伟大理论武装全体学员的头脑。1，划清毛主席的无产阶级革命路线和刘少奇，乌兰夫反革命修正主义路线的界限。2，划清无产阶级世界观和资产阶级世界观的界限。3，划清无产阶级党性和资产阶级派性的界限。加强无产阶级党性，加强无产阶级革命性，科学性和组织及旅行。在提高觉悟的基础上，进行斗私批判，围歼资产阶级派性。遵照毛主席关于整党建党的教导发扬彻底革命精神，以无产阶级革命事业接班人的五条原则，新党章第三条为标准，以“老三篇”为座右铭，亮私斗私，大摆资产阶级派性的表现，大列资产阶级派性的罪状，大论资产阶级派性的危害，大挖资产积极派性的根源。要抓住要害，狠触灵魂，路线斗争上找问题，世界观上找根源，行动上见效果，增强无产阶级党性，消灭资产阶级派性，在毛泽东思想的基础上团结一致，共同对敌。

主要学习文件：毛主席五十字建党大纲，关于纠正党内的错误思想，整顿党的作风和在延安文艺座谈会上的讲话，“老三篇”，毛主席观察三大区的指示，毛主席语录，“共产党员”、“干部”部分，林副主席在“九大”的政治报告第六部分，新党章。在学习过程中根据思想，运动的发展情况，灵活安排。把学习文件，大批判，斗私批修紧密结合起来。上述计划是否有当，请审查批示。

1970年2月23日 中央办的毛泽东思想学习班内蒙班

建党教育：

最高指示。专政的第一个作用就是压迫国家内部的反动阶级、反动派和反抗社会主义革命的剥削者，压迫那些对于社会主义建设的破坏者，就是为了解决国内敌我之间的矛盾……专政还有第二个作用，就是防御国家外部敌人的颠覆活动和可能的侵略，在这种情况下出现的时候，专政就担负着对外解决敌我之间的矛盾的任务。

伟大领袖毛主席教导我们“党组织应是无产阶级积极分子所组成，应能领到无产阶级和革命群众对与阶级敌人进行战斗的朝气蓬勃的先锋队组织”。这是我们进行整党建党的伟大纲领。毛主席这五十个金光闪闪的大字是对我们这几十年建党经验最科学地总结，是对马克思列宁主义建党学说的伟大贡献。他明确规定了我们党的阶级基础是无产阶级，指出我们党是用马克思主义、列宁主义、毛泽东思想武装起来的无产阶级先进分子组成；是领导广大革命群众，同群众达成一片，为绝大多数人的利益服务的；是同阶级敌人进行战斗的无产阶级先锋队。是实行民主集中制党内生活朝气蓬勃的党。他从阶级基础，先进思想，群众路线，阶级斗争和党内生活五个基本方向，对我们党的性质和领导作用作了深刻地概括。按着毛主席五十字大纲整党建党，有在着三段列的阶级斗争。（党内党外）斗争的实质，就是领导权掌握在什么人手里的问题，斗争集中表现在要不要党的领导，建设一个什么样的党和怎样建设党的问题上，也就是按照无产阶级先锋队的面貌来建设党，还是按照资产阶级，小资产阶级的面貌改造的问题。离开了中国共产党的领导，任何革命都不能成功。党的领导就是毛主席的领导，毛主席思想的领导，毛主席革命路线的领导。党的领导是通过党组织实现的，是通过党组织领导广大革命群众，执行毛主席指定的路线、方针、政策实现的。

林副主席在“九大”政治报告中指出，离开了无产阶级专政，离开了无产阶级专政下继续革命，就不能正确地解决党的建设问题，建设一个什么样的党和怎样建设党的问题。必须通过整顿和建设，使党员成为无产阶级专政下继续革命的先锋战士，使党组织成为无产阶级专政下继续革命的坚强堡垒，进一步加强党的领导和加强无产阶级专政。要反复强调增强无产阶级党性，反对资产阶级派性，无产阶级党性，从世界观的高度来说，就是马克思列宁主义的理论和实践统一的态度，没有这种科学的态度，就叫做没有党性，或叫做党性不完全。加强无产阶级党性，必须加强无产阶级的革命性，科学性和组织纪律性，组织纪律性就是战斗性。整党建党是摊在我们面前的一项十分重要的政治任务。我们一定要抓紧抓好，使我们党进一步用毛泽东思想武装起来，更加紧密地团结在毛主席为首林副

主席为副的党中央周围，认真落实就大提出的各项战斗任务，加强战备，更好地领导全国人民进行社会主义革命和社会主义建设，进行反对帝修反的斗争，争取更大的胜利。党权是政权的核心，是权中之权。党的性质：中国共产党是无产阶级政党。

4月2日 九大一周年社论学习

九大是我党历史上一次具有深远影响的代表大会。1.这次大会总结了我党四十八年以来的战斗。2.特别是无产阶级文化大革命的历史经验，彻底清算了叛徒，内奸，干贼刘少奇的反革命修正主义路线。3.选出了以毛主席为首林副主席为副的新的中央委员会。4.把毛主席关于无产阶级专政下继续革命的伟大理论作为全党各项工作的根本指导思想。5.九大对中国革命和国际共产主义运动的深远影响，越来越充分地显示出来。（伟大意义，深远意义）

毛主席在九大发出了团结起来，争取更大的胜利的伟大号召。毛主席说，团结起来为了一个目标，就是巩固无产阶级专政，要落实到工厂、农村、机关、学校。九大以来的一年是团结一年，胜利的一年，无产阶级专政更加巩固的一年。一年来，全国人民进一步开展活学活用毛泽东思想的群众活动。毛主席关于无产阶级专政下继续革命的伟大思想，深入人心。全党、全军、全国人民从备战备荒为人民的伟大战略方针出发，把自己的工作同革命的气象紧密联系起来，思想水平更高了，革命干劲更足了。我们的党我们的国家是坚强的。统一在战无不胜的毛泽东思想基础上，朝气蓬勃地团结在毛主席为首，林副主席为副的党中央的周围。林副主席在九大的政治报告中指出：我们党的全部历史，证明了一条真理，离开了毛主席的领导，离开了毛泽东思想，我们的党就要挫折，就失败；紧跟毛主席，照毛主席思想办事，我们的党就前进，就胜利。一年来斗争经验就证明了这个伟大真理。毛主席指示照办，毛主席挥手我前进，已经成为亿万人革命人民的钢铁誓言。对毛主席指示照办，就有明确的方向，照办就有正确的方法，照办就能团结最广大的群众，照办就有无穷无尽的力量。一句话，对毛主席指示照办，就是胜利。对毛主席的指示是不是照办，是有没有无产阶级党性问题。毛主席指示代表了无产阶级根本利益。只有站在无产阶级立场上才能坚决照办。

4月3日

列宁在二十世纪二十年代总结了国际共产主义运动的经验，指出关于领袖、政党、阶级、群众相互关系的学说。1.群众是划分为阶级的。2.阶级通常是由政党来领导的；3.政党通常是由比较稳固的集团来指挥的。而这个集团，是最有威信，最有影响，最有经验被选出担任最重要职务而成为领袖的人们组成的。

毛主席创造性地丰富发展了上述学说，毛主席明确指出了政党是阶级斗争的

工具，无产阶级组织的最高形式，政党与阶级的关系是先锋队与本阶级群众的关系。党要成为无产阶级的战斗司令部，就要有一个比较稳固的领导核心，就要有自己的伟大领袖，像列宁所说：“无产阶级专政是无产阶级的意志统一就会成为一句空话”。无产阶级夺取革命政权后，要巩固无产阶级专政，把革命进行到底，就需要自己的政党——共产党的领导。无产阶级是人类历史上最伟大的一个阶级，无产阶级革命彻底消灭一切剥削制度，消灭一切剥削阶级及其思想。通过无产阶级专政在全世界实现共产主义社会。这种革命比历史上任何革命都要伟大，都要艰巨和复杂。为实现这样伟大的革命目标，无产阶级就必须建立一个由马列主义毛泽东思想武装起来的，由无产阶级先进分子所组成的革命政党。党的力量就在于它从工人、贫下中农、革命军人和其他革命分子中奋斗终身的先进分子吸收进来。要坚定地站在无产阶级立场上，誓为共产主义奋斗。

政党与阶级、党员与非党员加以区别，就是为了坚持党的先进性，坚持党员的标准。同时也是为了明确，党与阶级，党员与群众的血肉联系，更好地使党员确立阶级观点，群众观点，发挥无产阶级先进分子团结和带领革命群众不断对阶级敌人进行战斗的作用。共产党员无产阶级组织的最高形式，党必须领导一切。党是无产阶级的先锋队和无产阶级组织的最高形式，它应领导一切和其他组织，如军队政府与民众团结。党与国家政权机制，群众组织之间的关系，是领导与被领导的关系，无产阶级如果没有共产党，把一切组织统一起来，集中在一个统一的目标下，实现党的领导，就不能战胜敌人，夺取政权，就不能巩固无产阶级专政，夺取无产阶级革命的最后胜利。党站明确规定，无产阶级专政的国家，权力机关，人民解放军，共青团，工人，贫下中农，红军及其他革命群众组织，都必须按照党的领导，这们党和国家的根本原则，是不是坚决服从党的领导，关系革命的成败，关系能不能把社会主义革命进行到底。

我们一定要牢固地树立党的领导的观念，摆正自己和党的关系，紧跟伟大领袖毛主席的伟大战略部署，紧密地团结在以毛主席为首的林副主席为副的党中央周围，用毛泽东思想统一认识，统一政策，统一计划，统一指挥，统一行动。

70年4月3日

整顿党的工作。学风不正就是没有主观主义的毛病。党风不正就是有宗教主义的毛病。文风不正就是有党八股的毛病。三个坏主意。我们所要的理论家是什么样的人呢？是要这样的理论家，他们能够依据马克思列宁主义的立场，观点和方法。正确解决历史中和革命中所发生的实际问题。马克思列宁主义理论和中國革命实际，怎样互相联系呢？用一句通俗的话来讲就是有的放“矢”，“矢”就是

“箭”，就是“靶”。放箭要对准靶，马克思列宁主义和中国革命的关系，就是箭和靶的关系。

主观主义有两种：1，宗教主义，经验主义，他们只看到片面，没有看到全面。如果不注意，如果不知道这种反面性的缺点，并是力求改正，那就容易走上错误的道路。宗教主义，由对党内的，党外的宗派主义残余，对内的宗派主义倾向产生排内性，障碍党内的统一和团结。对外的宗派主义倾向产生排外性，妨碍党团结全国人民的事业。铲除这两方面的错误，才能使党在团结全党同志和团结全国人民的伟大事业中畅行无阻。2，党内的宗派主义：闹独立性，只看到局部利益，不看见全体利益。不懂深党的民主集中制，他们不知道共产党不但要民主，尤其要集中。忘记了少数服从多数，下级服从上级，局部服从全体，全体服从中央的民主集中制。要提倡顾全大局。每一个党员，每一个种局部工作，每一项言论或行动，都必须以全党利益为出发点，绝对不许可违反这个原则。

外来干部和本地干部的关系。军队工作干部和地方工作干部的关系。老干部和新干部的关系。中央总是叫我们密切联系群众，而不要脱离群众，首先要使我们的干部真正懂得这个问题的严重性，使他们懂得共产党员如果不同党外一切，党外人员互相联合，敌人就一定不能打倒，革命的目的就不一定能走到。一切宗派主义思想都是主观主义的，都和革命的实际需要不相符合，所以反对，要斗争。

最后我们反对主观主义，宗派主义，党八股。有两条宗旨是必须注意的。第一是惩前毖后，第二是治病救人。在延安文艺讲话。立场问题，我们是站在无产阶级的和人民大众的立场，对于共产党来说，也就是站在党的立场，站在党性和党的政策的立场。许多同志常常失掉了自己的正确的立场。同志们中间还有很多的唯心论，教条主义，空想空谈，轻视实践，脱离群众等等的缺点，需要有一个切实的严肃的整风运动。有许多党员，在组织上入了党，思想上还没有完全入党，甚至完全没有入党。这种同志上没有入党的人头脑还装着许多剥削阶级的脏东西，根本不知道什么是无产阶级思想，什么是共产主义，什么是党。我们的党，我们的队伍，虽然其中的部分是纯洁的。但是为要领导革命运动更好的发展，更快地完成，就必须从思想上组织上认真地整顿一番。因为要从组织上整顿，首先要在思想上整顿，需要展开一个无产阶级对非无产阶级的思想斗争。

关于纠正党内的错误思想：党内存在着各种非无产阶级思想，这对于执行党的正确路线，妨碍很大，若不彻底纠正，则中国伟大革命斗争给予的任务，是必然担负不起来的。关于极端民主化，例如党的决议比较低能，不执行了，要求在红军中实行所谓“由下向上的民主集权制，党叫下级讨论，再由上级决议”等项错误主张，也没有再提了。但极端民主化的思想没有肃清。

纠正的方法：指出危害，破坏党的组织，削弱以至完全毁灭党的战斗力，使党担负不起斗争的责任，由此造成失败来说于小资产阶级自由傲慢性。带到党内，成了政治上和组织上的极端民主化思想，是无产积极的斗争任务根本不相容的。在组织上厉行集中指导下的民主生活。

关于非组织观点：少数服从多数。例如，少数人的抗议被否决，他们就不诚意地执行党的决议。非组织的批评。党内批评是增强党的组织，增强党的战斗力的武器，但是红军党内的批评有些是这样变成了个人攻击。许多党员不在党内批评而在党外去批评。纠正方法：教育党员懂得党的组织的重要性，对党委或同志有所批评应当在党的会议提出。

个人主义：1，报复主义。2，小团体主义，3，雇用主义。4，享乐主义。5，消极怠工。6，离队思想。纠正的方法：主要是加强教育，从思想上纠正个人主义，再则处理问题，分配工作，执行纪律要得当。

一，毛主席50字纲领是我党几十年建党历史的最科学概括。毛主席50字纲领是对马列主义学说的伟大贡献。毛主席50字纲领是国际主义共产主义运动建设中真正马列主义政党的伟大准则，是区分真假共产党，真假马列主义的试金石。是在无产阶级专政下，继续进行建设党的政治方向。是反对刘少奇及一切新老修正主义建党路线的伟大武器。是我们每个共产党员达到真正思想入党继续革命先锋战士的奋斗目标。

二，毛主席50字建党纲领是在无产阶级专政下进行建党的政治方向。毛主席五十字纲领从阶级基础，先进群众路线，阶级斗争，党内生活等方面，作了最深刻最科学，最高度的解明，内容极其丰富。我们的党性是无产积极的政党。我们的党的阶级基础是无产阶级。我们的党是无产阶级的先锋队。我们的党的指导思想是马列主义毛泽东思想。我们的党是由马列主义，毛泽东思想武装起来的无产阶级先进分子组成。我们的党的群众路线和群众打成一片，为中国和世界大多数人谋利益。在无产阶级专政下存在着（四个存在）。我们党的根本任务搞阶级斗争，领导无产阶级和革命群众向阶级敌人（包括党内外，国内外敌人）进行战斗，巩固无产阶级专政，支援世界革命。我们党的组织原则是民主集中制。我们党的革命作风，战斗风格，精神面貌，真正达到理论联系实际，密切联系群众，勇于批评与自我批评。我们党内两条路线的对立和斗争，是社会阶级矛盾和新生事物矛盾在党内的反映，必须进行反对修正主义的斗争，吐故纳新，保持党的队伍纯洁性。我们党的最终目的是实现共产主义。

50字金光闪闪，言简意赅，字字包含着极为丰富的内容，我们学习初步体会是：一，党组织应是无产阶级先进分子所组成，规定了党的性质，即党是无产阶级的政党，是无产阶级先锋队组织。党的理论基础是马克思列宁主义，毛泽东思

想，深刻指明了党的阶级性，纯洁性，科学性。

我们党的阶级基础是无产阶级。这是因为“无产阶级是人类历史上最伟大的一个阶级，是思想上政治上、力量上最强大的一个革命阶级。”无产阶级最富有革命的彻底性，最有远见，最大公无私，最能团结大多数人。只有无产阶级才能担当起领导革命的重任。在我们无产阶级已经夺取政权，但阶级和阶级斗争还存在，资本主义复辟的危险，还存在。国内的基本矛盾依然是无产阶级和资产阶级的矛盾，政党是代表阶级的，没有超阶级的政党。我们党代表无产阶级的根本利益，必须是无产阶级为基础。

赫鲁晓夫、刘少奇与乌兰夫等反革命反革命修正主义建党路线，否定党的阶级基础是无产阶级，就是企图篡夺党的质量，把共产党蜕化为资产党、全民党、民族党，从而使国家和政权变色。党是无产阶级先进分子所组成。先进分子就是用当代最高最活的主义---毛泽东思想武装起来的分子。毛泽东思想是我们党的指导思想，是全党的理论基础，是党的最高典范，是无产阶级解放自己，解放全人类的科学真理，是党的灵魂。毛泽东思想是反对帝国主义的强大思想武器，是反对修正主义和教条主义的强大强大思想武器。毛主席关于在无产阶级专政下继续革命的伟大理论，是马列主义发展史上第三个光辉的里程碑。做一个共产党员必须活学活用毛泽东思想，永毛泽东思想统帅一切，才能为中国和世界大多数人谋利益，才能把中国革命和世界革命进行到底。明确规定政党是毛泽东思想武装起来的先进分子所组成。这就从根本上保证了我党能够在无产阶级专政条件下把革命继续向前推进，并且担负起世界革命的重担。是否以毛泽东思想为指导思想，这是区别一个人一个党是否真做到马列主义的试金石。刘少奇擅自取消“七大”就已规定的毛泽东思想是党的指导思想，就是阉割党的灵魂，以根本上篡党，反党。

二，“应能领导无产阶级以及革命群众对于阶级敌人进行战斗”的明确规定了党的根本政治任务和群众路线。我们的党是在阶级斗争烈火中产生的，党内历史就是一个阶级斗争史，搞阶级斗争是共产党的根本任务。夺取政权并不是阶级斗争的结束，而是阶级斗争的新起点。无产阶级专政条件下，阶级斗争的实质，仍是政权问题，革命的主要对象就是党内走资派。已被推翻了的反动阶级，人还在，心不死。在国际还存在着帝、修、反。因此，共产党员要永远站在阶级斗争的最前线。刘少奇的阶级斗争熄灭论，“党内和平化”就是取消阶级斗争，取消无产阶级专政，听任资产阶级向无产阶级，是我们亡党亡国亡头。党与阶级的关系，党与群众的关系，是领导与被领导的关系，要坚持党的领导作用，坚持服从和维护党的领导，革命才能不断的取得胜利。党的领导作用也就是党的领导权的问题。党必须领导一切。任何人和群众，组织都必须服从党的领导。无政府主义，把

群众组织凌驾于党之上，听派头的话，是完全错误的。共产党最基本的一条，就是直接依靠广大人民群众，党与群众的关系，是血肉关系。共产党员不能高人一等，也不能降低到普通群众水平。共产党员要能团结和带领群众前进，就必须能够代表群众的根本利益，树立牢固地阶级观点，群众观点，遇事同群众商量，向群众学习，能够同群众打成一片。处处事事上起模范作用。刘少奇的“群众落选论”，如党作官论，就是要把党割裂开来，对立起来。使党脱离无产阶级和广大群众，革命归失败。

三，“朝气蓬勃”。朝气蓬勃是党的战斗风格，革命作风，精神面貌。毛主席在党内生活上一贯提倡“朝气蓬勃”。这是我们党兴旺发达的重要标志，是我们党具有强大的战斗力，无限生命力的生动理论。在毛主席领导下，我们党内生活既有高度集中统一，又有高度民主生活。“朝气蓬勃”就是需要大无畏的革命造反精神，在三大革命运动中敢于冲锋陷阵，破除迷信，解放思想，敢想敢干，敢于斗争，敢于胜利。“朝气蓬勃”就是需要勇于自我批评，不断改造自己，斗私批修，吸收新鲜血液，使党永远保持朝气。刘少奇的“好人党”，“驯服工具论”，就是使我们党暮气沉沉，党内生活死水一潭，党组织颓废衰败，逐渐变成修正主义政党。一大队七连大批判专栏抄。

70.4.3

“对于阶级敌人进行战斗”。不仅要对国内阶级敌人进行战斗，而且要对国外的帝修反进行战斗。“无产阶级先进分子”不仅要把中国革命进行到底，还且要把世界革命进行到底。*（即两个革命）。“先锋队组织”，要领导革命群众对国内反复辟，对外反侵略。（即两个任务）

1970年元月11日 赴唐山学习

1. 三感教育：光荣感、幸福感、责任感
2. 形势教育，元旦社论
3. 王国福事迹的学习
4. 整顿党的学习（五十字纲领）总纲。首长讲话。
5. 组织纪律教育（学习班）

以上为预备期学习阶段，2月1日个人总结。主要精神：端庄学习态度为主，增强党性，消灭派性，斗私批修，改造世界观，团结起来，共同对敌。

第二阶级进入正式学习。战备教育阶段：一，九大精神。二，继续革命。1，团结起来争取更大的胜利。2，团结起来，共同对敌。3，提高警惕，保卫祖国，要准备打仗。4，团结起来，巩固无产阶级专政。5，团结起来，搞好斗批改。6，

团结起来，将文化大革命进行到底。7，团结起来，才能继续革命，将中国革命世界革命进行到底。总之，团结的伟大意义，不团结就是不革命，团结是大节，不团结就是不执行毛主席的指示，就是对毛主席不忠就没有革命，就没有革命的胜利，就是分裂革命队伍，就是挖社会主义墙角，就是替敌人打自己，不团结的人，就不够中国人的资格，中国共产党的资格，就是革命的罪人……。

中国共产党的性质——中国共产党是无产阶级政党，是由无产阶级先进分子所组成。50字纲领党组织无产阶级是人类历史上最伟大的一个阶级，使思想上、力量上强大的一个革命阶级，政党是阶级斗争工具，是无产阶级组织的最高形式。（党是政权的核心）是彻底推翻资产阶级和一切剥削阶级，用社会主义战胜资本主义，用无产阶级专政代替资产阶级专政，党的最终目的是实现共产主义。（50字纲领，革命性最高，最彻底）。

毛主席教导我们说：既要革命，就要有一个革命党，没有一革命的党，没有一个按照马克思列宁主义的革命理论和革命风格建立起来的革命党就不可能领导工人阶级和广大人民群众，战胜帝国主义及其走狗。以毛泽东同志为领袖的中国共产党，是伟大的，光荣的，是中国人民的领袖核心。共产党要完成而且还要担负起这样光荣而又艰巨的任务，消灭剥削阶级、剥削制度，解放全人类，实现共产主义，就要有一个指导思想。指导思想——以马克思列宁主义、毛泽东思想作为指导思想的理论基础。毛泽东思想是在帝国主义走向全面崩溃，社会主义向全世界胜利的时代的马克思列宁主义。

半个世纪以来，毛主席领导中国在完成新民主主义革命的伟大斗争中，社会主义革命和社会主义建设的伟大斗争中，在当代国际共产主义运动反对帝国主义、反对现代修正主义、反对各国反动派的伟大斗争中，把马克思列宁主义提高到一个崭新的阶级。党经历了长期的武装夺取政权和巩固政权的阶级斗争的锻炼，在反对左的和右的机会主义路线的斗争中巩固和发展起来，满怀着信心走在社会主义革命和社会建设的大道上，奋勇前进。

林副主席在九大报告指出，我们党的全部历史证明了这一条真理，离开了毛主席的领导，离开了毛泽东思想我们的党就要挫折，就失败。紧跟毛主席，照毛泽东思想办事，我们的党就前进就胜利。

回顾一下，过去的中国，是一个一穷二白的腐败的中国。帝国主义任意侵略，瓜分中国，反动派是压榨，中国处在一个半封建半殖民地国家，亡国亡民，互相争夺地盘，投蒋，三座大山压在中国人民的头上，帝国主义，封建主义，官僚资本主义。而今天的中国，在世界上也是顶天立地强大的社会主义国家。这就证实了，也就是说只有共产党才能救中国，也只有毛泽东的领导，毛泽东思想的领导，才能取得这样伟大胜利。通过参观展览，毛主席在领导我国革命时期，几十年的

过程中，在每一个关键时刻都是毛主席摆正了航向，由一个胜利走向另一个胜利。中国共产党是毛主席培育下建立起来的党。

毛主席从小就富有反抗性，胸怀救国救民的革命意志。深入到农村，作调查研究，发动农民运动，减租减息，深入到工人群众里面，组织了工人运动，进行罢工，深受农民工人欢迎，抗日时期，十大纲领。毛主席的家是革命的家，为国牺牲了六人。在这48年中的国内革命战争，抗日战争，解放战争，解放后国民经济的恢复，都是在毛主席和毛泽东思想正确领导下取得了胜利。（中国的解放，新的红色政权的创立）在这几十年的革命斗争实践中，得出了武装夺取政权，也就是枪杆子里边出政权的道理。正如林副主席说的，毛主席在领导中国革命的伟大斗争中，天才地解决了武装夺取政权的一系列复杂的课题。在毛主席领导下中国人民经历了世界无产阶级革命史上最长期最激烈、最艰苦、最复杂的人民革命战争，建立了无产阶级专政的政权，完成了新民主主义革命，建立了中华人民共和国。

从21年诞生以来我们的党，经历了武装夺取政权和巩固专政的长期斗争，在毛主席领导下，我们党始终站在革命战争和斗争的最前线，正是在毛主席正确路线指引下，在国内外敌人强大情况下十分复杂的环境中我们党领导了中国无产阶级和广大人民群众坚持独立自主，自力更生的方针，坚持无产阶级国际国际主义前赴后继，英勇奋斗，才使党从最初只有几十个成员的共产主义小组，发展到今天领导着强大的中华人民共和国的伟大的、光荣的、正确的党，我们深深懂得离开人民的武装斗争，就没有今日的中国共产党，就没有今天的中华人民共和国。我们永远记住毛主席的领导，这个拿血换来的经验。

中国共产党的一切成就都是毛主席英明领导的结果，都是毛泽东思想的胜利。在中华人民共和国诞生前的49年3月，毛主席在党的七届二中全会上的报告中就明确指出，在无产阶级专政政权下，国内的主要矛盾是工人阶级和资产阶级的矛盾。中心问题是政权问题，毛主席特别提醒我们，在拿枪的敌人消灭之后，不拿枪的敌人依然存在，他们必须地要和我们作拼死的斗争，我们决不可以轻视这些敌人，如果我们现在不是这样提出问题和认识问题，我们就要犯很大的错误。解放后进行了一系列的革命运动，三五反运动（52年），55年农村合作社化，人民公社，大跃进，社会主义教育运动以及轰轰烈烈的文化大革命运动。

无产阶级和资产阶级之间在意识形态方向的斗争还是长期的，曲折的，有时还是很激烈的。通过文化大革命，以毛主席为首的无产阶级司令部，发动革命群众，九大后彻底粉碎了以刘贼，内奸、工贼、叛徒、现代修正主义刘少奇这个头等炸弹。多少年来，在党内篡夺了从中央到地方的领导权，组成的资产阶级司令部，要搞复辟资本主义，对抗以毛主席为首的无产阶级司令部。他们与帝国主义，

国民党反动派和修正主义勾结着，在国内外搞复辟。因而这个伟大胜利是大快人心的，是毛泽东思想的伟大胜利，是党个伟大胜利。

62年八月北戴河中央工作会议和九月党的八届十中全会上，毛主席更加完整地提出了我党整个社会主义历史阶段的基本路线。毛主席提出：社会主义社会是一个相当长的历史阶段，存在阶级矛盾。还要说明阶级存在、阶级矛盾、阶级斗争。革命没有完，还要继续。我们从现在起，必须年年讲，月月讲，是我们对这个问题有比较清醒地认识。有一条马克思列宁主义的路线，毛主席提出的这条马克思列宁主义路线，是我们党的生命线。（千万不要忘记阶级斗争的存在，在社会主义建设时期，毛主席关于无产阶级专政下继续革命的理论学说）。毛泽东同志全面地继承、捍卫和发展了马克思列宁主义，创造性地提出了无产阶级专政下继续革命的伟大理论。这是马克思主义发展到一个崭新阶段，即毛泽东思想阶段的一个极其重大的标志，在不断地进行革命。一系列的最新指示，在我们武装夺取政权下，如何巩固这个政权，保好这个权，再不要受二遍罪，吃二遍苦。

总的来说，毛主席的丰功伟绩，是很难以形容的。毛主席的高瞻远瞩，胸怀世界的高大形象。正如林副主席教导的，毛泽东思想是人类的灯塔，是世界革命的最锐利的武器，是放之四海皆准的普遍真理。

毛主席比马克思、恩格斯、列宁、斯大林等高深得多，现在世界上没有哪一个人比得上毛主席的水平。毛主席这样的天才，全世界几百年，中国几千年才出现一个。毛主席是世界最伟大的天才。毛主席不仅领导中国人民进行革命到底，而且是在全世界也是杰出的伟大领袖。刘少奇反革命修正主义，在新民主主义时期和社会主义革命许多重大的历史关头，刘一伙都猖狂地反对毛主席的无产阶级革命路线，进行反革命破坏活动。通过学习，党章50字纲领，在思想认识上加深了理解，过去在这方面学习较差，尤其一些理论的东西很少学习，理解能力较差，对毛主席的感情，进一步加深。

对毛主席的态度问题，对毛泽东思想的态度问题，对毛主席的无产阶级感情问题。如何能真正从内心里表达达到三忠于、四无限的地步。1，阶级立场。2，世界观，没有改造。3，怎对封建残余。参加组织问题的解决，有了明确的认识，是为了革命而参加组织。无产阶级是搞阶级斗争的，是在两个阶级斗争，两条路线斗争中，如何在这方面提高斗争觉悟。

林副主席说，既要把自己当作革命动力，也要作革命的对象。以及自己的非无产阶级思想，带有小资产阶级思想，对毛主席的思想。群众路线，密切联系群众，是我国共产党和其他政党互相区别的显著的标志之一。

毛主席教导我们说，人民，只有人民，才是创造世界历史的动力。依靠群众，相信群众。

4月6日讨论

按照党的领导划清驯服工具轮的界限。按照党的领导划清奴隶主义的思想界限。按照党的领导划清抵制错误的领导。按照党的领导划清执行党的组织纪律性关系。按照党的领导划清不仅是党员，而且所有革命群众都要接受。

民主和集中的关系。纪律和自由的关系。

最高指示

中国共产党是全国人民的领导核心，没有这样一个核心，社会主义事业就不能胜利。

党的领导——50字纲领，党组织应是无产阶级先进分子所组成，应能领导无产阶级和革命群众对于阶级敌人进行战斗的朝气蓬勃的先锋队组织。党的领导，就是毛主席的领导，毛泽东思想的领导，毛主席无产阶级革命路线的领导。党的领导，是通过党组织实现的，是通过党组织带领广大革命群众执行毛主席指定的路线方针政策实现的。

党章五条规定：无产阶级专政的国家权力机关，人民解放军，共青团员、工人、贫下中农、红卫兵、及其他革命群众组织都必须按照党的领导。以毛泽东同志为领袖的中国共产党，是伟大的光荣的党、正确的党，党是中国人民的领导核心，口头上也是讲，服从党的需要，要听党的话，踏踏实实工作就是好同志。比如分配工作中，实际上不是听党的话，党的一切都仍在脑后，只有自己的一切，与党离心离德。就是听上级的话，把上级领导的所作所为却一一服从，也不会用脑想想、他们执行的对党有利没有，符合不符合毛泽东思想，不加以分析，盲目服从。不接受党的领导，而是派的领导，群众组织的领导。（无政府主义）离党很远。

林副主席教导我们说：我国是一个伟大的无产阶级专政的社会主义国家，有七亿人口，要有一个统一的思想。这就是毛泽东思想。有了这个思想，才能保持旺盛的革命干劲，才有坚定的正确政治方向。自己通过这段学习，加强党的领导，增强党的观念，高举毛泽东思想伟大红旗，活学活用毛泽东思想，接受党的领导。听毛主席的话，照毛主席指示办事，做毛主席的好战士。（摆好党与自己的关系）目前很多学习毛主席在无产阶级专政下继续革命的伟大学说，武装头脑，为巩固无产阶级专政掌好权，保好权。尤其在其思想领域里的非无产阶级思想的权，私字的权，建立无产阶级思想，也就是毛泽东思想。

党组织原则：党章明确规定，党的组织原则是民主集中制。全党必须服从统一的纪律，个人服从组织，少数服从多数，下级服从上级，全党服从中央。毛主席说：没有民主，不可能有正确的集中，因为大家意见分歧，没有统一的认识，

集中制就建立不起来，什么叫集中，首先是要集中正确的意见，在集中正确的意见的基础上统一认识，统一政策，统一计划，统一指导，统一行动。叫做集中统一。毛主席又领导我们说：加强纪律性，革命无不胜，这是一个伟大的其证。针对自己在这方面做得怎样，尤其在文化大革命期间，后期大字报，没有工作表现，无组织无纪律，散漫的状态。心中只有自己，自己的家庭，什么党的组织原则、纪律都仍在脑后，同时还认为理所当然，上边不抓不管，而没有自觉遵守，损害了革命纪律性，涣散革命队伍。

内蒙后期情况来看就是好斗。党的领导、党的观念、国家利益，人民利益、组织性、纪律性，统统都放到脑后，出现各种无政府主义，宗派主义，经济妖风完全是要粮个人利益，个人自由，一切从私字出发，当然这也说明敌人在这方面的破坏，而干扰产生的结果，可是就没有一个人去顶住，去反抗，去斗争，事不关己，高高挂起，自由主义思想泛滥。毛主席教导说，在人民内部，民主是对己中而言的。自由是对纪律而言。这些都是一个统一体的两个矛盾的侧面，它们是矛盾的，又是统一的。在人民内部，不可以没有自由，也不可以没有纪律，不可也没有民主，也不可没有集中。这种民主和集中的统一，自由和纪律的统一，就是我们主要集中制。在这个制度下，人民享受着广泛的自由和民主，同时又必须用社会主义的纪律约束自己。4月6日 发言

最高指示：无产阶级不但要解放自己，而且要解放全人类。如果不能解放全人类，无产阶级自己就不能最终得到解放。

4月7日 党的任务：

基本纲领里边明确规定，是彻底推翻资产阶级和一切剥削阶级，用无产阶级专政代替资产阶级专政，用社会主义战胜资本主义，党的最终目的是实现共产主义。

50字的建党纲领：党组织应是无产阶级先进分子所组成，应能领导无产阶级和革命群众对于阶级敌人进行战斗的朝气蓬勃的先锋队组织。建党的政治方向。阶级斗争，巩固无产阶级专政，在无产阶级专政下建设革命，实现共产主义。刘少奇的修正主义路线，正是从根本上背叛了马克思列宁主义的无产阶级专政学说和党的建党的理论。散步阶级斗争熄灭论。传布他的黑修养，是充分培养规划为无产阶级专政和平演变为资产阶级专政。

毛主席领导我们说，（68年）我们已经取得了伟大的胜利，但是失败的阶级还要挣扎。这些人还在，这个阶级还在，所以我们不能说最后的胜利。几十年都不能说这个话，都不能丧失警惕。按照列宁的观点，一个社会主义国家的最后胜利，不但需要本国无产阶级和广大人民群众的努力，而且有待于世界革命的胜利，有

待于在整个地球上消灭人剥削人的制度，使整个人类却得到解放。新党章也明确指出，社会主义社会是一个相当长的历史阶段，还存在着阶级、阶级矛盾和阶级斗争。*（四个存在）

毛主席指出的这条马克思列宁主义路线，是我们党的生命线。我们的任务，不仅在国内担负着反对地主，反对帝反。另外从国际形势上来看，帝国主义，尤其社会帝国主义互相勾结，进行反华侵略。现在的努力是朝着将来的大目标的，失掉这个目标，就不是共产党员了，然而放松了今日的努力，也就不是共产党员。对右派，叛徒，进行反革命斗争，进行反复辟的任务，巩固无产阶级专政。

领袖毛主席又指示，团结起来，争取更大的胜利，提高警惕，保卫祖国，要准备打仗。这一伟大教条，目前苏联大军压境，目标对准中国进行侵略，很显然，这个反侵略的任务也担负在我们身上。中国应当对人类要有较大的贡献，这就指示我们，不仅要把中国革命进行到底，而且对世界革命进行到底。为这个远大的理想和奋斗目标，光荣而又艰巨的任务，很明显的摆在我们面前，而我们应该怎么办。尤其自己应该怎么办？

首先说学习班，是党校性质学习班，是为了解决内蒙问题中央办的，内蒙问题敌情严重，历史复杂，阶级斗争尖锐，整个情况已不适应战备的要求。内蒙是祖国的北大门，担负着保卫国家的重要责任，内蒙工作也是中国革命的一部分。

首先我们在正接受教育过程中，要在思想上进行彻底整顿，从50字建党纲领为标准要求自己，改造自己。毛主席指示，我们党我们队伍，其中的大部分是纯洁的，但是为要领导革命运动更好地发展，更快地完成，就必须从组织上整顿，首先需要在思想上整顿，需要展开一个无产阶级对非无产阶级的思想斗争。学习毛主席无产阶级专政下继续革命的伟大学说，改造自己，树立继续革命的坚定决心、精神。为达到共产主义而奋斗到底。以50字建党纲领，先进分子的标准要求自己。活学活用主席著作，在思想里吐故纳新。

另一方面，阶级斗争，觉悟不高，敌情观念不强。尤其在对内蒙问题，不能加以用阶级观点来分析，认识不够，敌人的新动向看不透。同时认为搞阶级斗争是公检法部门的事情，是上级领导的事情。实际上是刘少奇阶级斗争熄灭论的观念，流毒较深，总认为大局已定，政权已经掌握了，即使有一两个敌人也怎么不了的和平麻痹思想，是纯搞工作，不抓阶级斗争，就等于不搞革命，容易走向反面，帮了敌人的忙，这是很危险的。再就是胸心狭小，眼光短浅，没有革命的远大目标、理想与奋斗，没有个方向。虽然工作了十几年，口头上革命而实际上是混革命。尤其在前十年干劲（精力上）好像正经，精神力却很好，反正交给自己的工作，按要求能完成。还有个上进心，而现在年年有退坡同志，没有个上进心，就这样混几年就算了，尤其是文化大革命受到点委屈，更表现十足，想的是自己，

处处围着个人家庭打算。根本没有革命的远大理想。这也是关系到刘少奇的黑六论影响。与王国福对比，相差十万八千里，王国福是身居职工层，放眼全世界，拉革命来，不放套，一直拉到共产主义。而自己是想坐车，不想拉车的思想，从各方面与王国福的对比，比他优越，而在思想上却不然。

白求恩是个外国人，为了中国的抗日战争，不远万里来到中国。国际主义精神在工作中，毫不利己，专门利人的精神。自己是一个身为中国人，起码的以50字建党纲领对我们提出的任务要求，完全不上符合。

我们学习班是为了解决内蒙问题做出贡献，首先不仅要把自己当作革命的动力，而且也是要把自己当作革命对象，革人家命好革，革自己的命就有不同。首先，革自己的头脑，革私字的命，很斗私字，狠触灵魂。（虽然没有工作，学习就是我们的工作）

对内蒙尤其本大单位情况进行揭发，进行大批判，这就是我们的本职工作。一定要按照学习要求达到目的。否则两个革命到底还是不能达到的。在无产阶级专政下继续革命做个先锋战士，贡献力量。革命精神都没有，哪能够一个中国人民的资格呢。在脑子里进行吐故纳新，改造非无产阶级思想。

4月7日发言

先进分子。50字党纲领首先指出，党组织应是无产阶级先进分子所组成，应能领导无产阶级和革命群众，对于阶级敌人进行战斗的朝气蓬勃的先锋队组织。

党章二章三条：中国共产党必须做到：1，活学活用马克思列宁主义、毛泽东思想。2，为中国和世界的多数人谋利益。3，能够团结大多数人，包括反对过自己反对错了并且认真改正错误的人，但是要特别警惕个人野心家、阴谋家和两面派，防止这样的坏人篡夺党和国家的各级领导，保证党和国家的领导权永远掌握在马克思主义革命家手里。4，有事同群众商量。5，勇于批评和自我批评。

誓为共产主义奋斗终身的中国共产党党员，要下定决心，不怕牺牲，排除万难，去争取胜利。先进分子（共产党必须做到）是根据新党章规定明确其任务而制定的。为实现中国革命和世界革命消灭剥削阶级，为大多数人谋利益（奋斗目标）。第一条为活学活用马克思列宁主义毛泽东思想，为统率，为指导思想。

下边三条，即是几条做法。党依靠群众，相信群众。毛主席教导我们说，人民只有人民，才是创造历史的动力。革命几十年来，已深有体会，在每个时期都是党领导群众依靠群众，相信群众（群众关系）来实现革命的胜利。批评与自我批评保持党的先进性，与非无产阶级思想斗争。以防侵蚀队伍，削弱革命的战斗性、纯洁性、有事同群众商量，民主做法，不是发号施令。

最高指示。共产党基本的一条，就是直接依靠广大革命人民群众。我们共产

党人区别于其他任何党的又一个显著标志，就是和广大的人民群众取的最密切的联系。全心全意地为人民服务，一刻也不脱离群众，一切从人民的利益出发，而不是从个人或小集团的利益出发。向人民负责和向党的领导机关负责的一致性，这些就是我们的出发点。我们主张积极的思想、斗争，因为它是——批评与自我批评。根据其它五条结合自己，差距很大，今后要从这方面努力，要求自己（以这个标准），首先是第一条。彻底斗私改造思想，用毛泽东思想武装头脑。

对入党问题未得解决，有自卑，主要没有正确地认识。入党为入党，不是为革命而入党的思想，感到党是光荣，从各方面有好处。对周围同志（党员）尤其新党员，有对比，总看到人家缺点，自己的优点。对比，没有从主流上看，仅从枝节上看问题。以上几点错误思想，通过学习已经得到改正。

4月9日读

4月10日 以连讲用小节

一排同志 党的性质，指导思想

二排讲 党的领导

三排 党的领导，怎样接受党的领导任务，在无产阶级专政下继续革命，靠枪杆子。

五排，先进分子：战斗性、革命性、彻底性、先进性。

党经历了长期的武装夺取政权和巩固政权的阶级斗争的锻炼，在反对右的和左的机会主义路线斗争中，巩固和发展起来，满怀信心地在社会主义建设的路上奋勇前进。我们党的历史，证明了一条真理，离开了毛主席的领导，离开了毛泽东思想，我们党就要挫折，就失败，紧跟毛主席，找毛泽东思想办事，我们的党就前进，就胜利。我们要永远记住这个经验。针对自己是不是接受党的领导，是不是按照毛主席的无产阶级革命路线办事，一切听从党的原则办事，这也是对毛主席对毛泽东思想的态度问题。